

デジタルプリント システム

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

UPX-C21

安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の安全上の注意事項が記されています。

49～50ページの「本システムの性能を保持するために」も併せてお読みください。

定期点検を実施する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。点検の内容や費用については、お買上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

故障したら使わない

すぐに、お買上げ店またはソニーのご相談窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

-
- ① 電源を切ります。
 - ② 電源コードや接続コードを抜きます。
 - ③ お買上げ店またはソニーのご相談窓口までご相談ください。

警告表示の意味

この取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、破裂、発熱、液漏れにより死亡や大けがになります。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意

火災

感電



高温

破裂

行為を禁止する記号



禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

強制

アース線を接続せよ

⚠警告	4
⚠注意	5
電池についての安全上のご注意	7
万一、異常が起きたら	7
本システムの特長	8
主な構成例	8
本システムで作成できるプリント画	9
各部の名称と働き	10
カメラ	10
ステーション	13
プリンター	14
準備	16
プリンターの準備	16
接続する	23
カメラの準備	27
操作	35
撮影する	35
撮影した画像を再生する	39
画像を消去する	40
消去を禁止する(プロテクト)	43
プリントする	45
本システムの性能を保持するために	49
カメラ	49
プリンター	50
お手入れ	50
主な仕様	51
故障とお考えになる前に	53
つまった紙を取り除く	57



火災



感電

下記の注意を守らないと、**火災や感電により死亡や大けが**につながる可能性があります。



カメラを人の目(特に乳幼児)に近づけて撮影しない

禁止

目の近くでFLASHを発光させると視力障害を起こす原因となります。

特に乳幼児を撮影するときは、ご注意ください。



カメラのOVFからは絶対に太陽を覗かない

禁止

失明する場合があります。



日の当たる場所にカメラを放置しない

禁止

太陽光の収束光により火災を誘発する危険があります。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



禁止

雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。

この取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



アース線を
接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

安全アースを取り付けることができない場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



注意

カメラ取り付けネジは適度な力でしめる

ネジの締めかたがゆるいと、落下することがあります。



禁止

製品の上に乗らない、重いものを載せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



強制

移動の際は、カメラをステーションからはずす

ステーションに取り付けたままカメラを持ち上げると、ステーションが落下して手や足の上に落ち、けがの原因となることがあります。



禁止

カメラの接点には素手で触れない

カメラの接点に素手で触れると、けがの原因となることがあります。



高温

インクリボンカートリッジの装着口の内部に手を入れない

中にあるプリントヘッドが熱くなっている場合があります。やけどの原因となることがあります。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物(じゅうたんや布団など)の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご相談ください。



下記の注意を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間にはさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口へ交換をご依頼ください。



分解禁止

分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどを開けたり、改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのご相談窓口にご依頼ください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



禁止

内蔵ストロボ内は絶対に手を入れない

不慮な出来事で内蔵ストロボが破損しても内部に手を入れることは絶対にしないでください。怪我や感電の危険があります。



強制

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



禁止

指定以外のACパワーアダプターを使わない

火災やけがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



注意

移動させるときは電源コード、接続コードを抜く

接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

ここでは本機での使用が可能なインフォリチウム電池とボタン型電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

異音がしたら

異臭がしたら

煙がでたら

異常に温度が上がったら

すぐにバッテリーをはずし、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

バッテリー液が漏れたら下記注意事項を守って下さい。

すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。

目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師にご相談ください。

液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



火災

下記の注意を守らないと火災・破裂により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

指定された充電器以外で充電しない。

火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。

火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。



火災

下記の注意を守らないと火災などにより死亡や大けがの原因となります。

火のそばや炎天下などで放置したり、充電したりしない。危険防止の保護回路が壊れることがあります。

ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり強い衝撃を与えない。

コイン電池は幼児の手に届かない場所に保管してください。万が一飲み込んだ場合はすぐに医師に御相談してください。

使用上のご注意

⊕と⊖の端子をネックレスなどの金属類でショート(短絡)させないでください。

端子部分にゴミや砂などの異物が入らないように注意して使ってください。

もし、異物が入ってしまった場合には、先の細いやわらかい棒で完全に取り除いた後、充電器やカメラ機器への取り付け、取りはずしを数回繰り返してください。

高温になった車の中や炎天下など、60℃以上になる所に放置しないでください。

水にぬらさないでください。

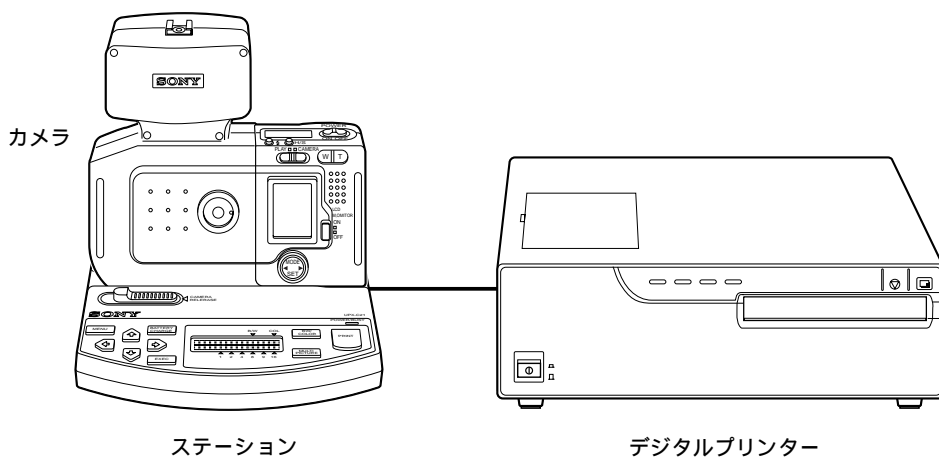
カメラ・器機に取り付けた後、バッテリー本体を持ってカメラ・器機を持ち運ばないでください。

本システムの特長

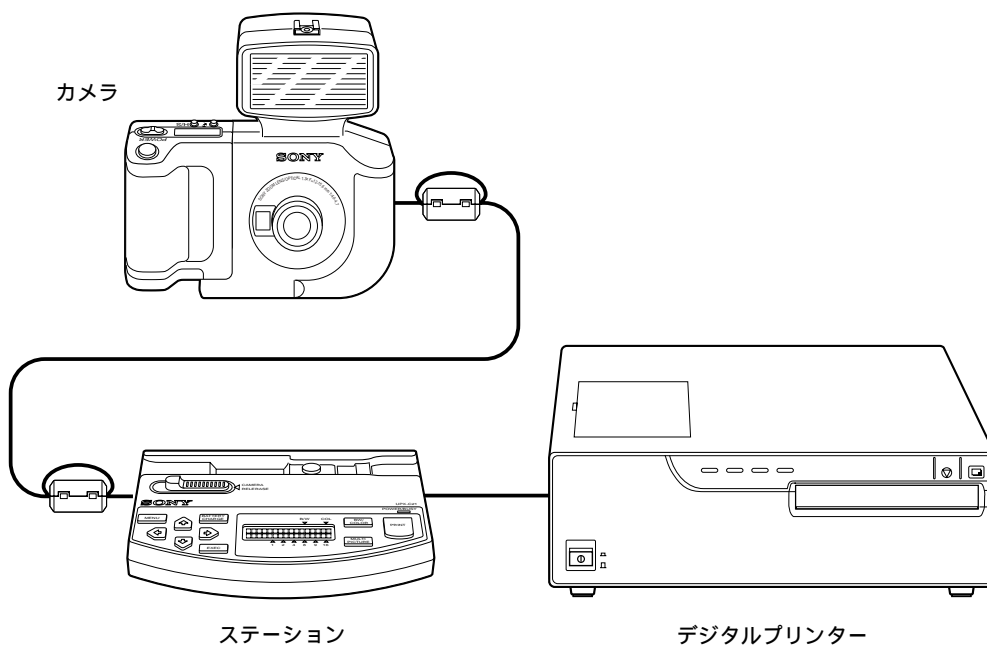
本システムは、証明書写真などの撮影用に、デジタルカメラで画像を撮影し、その画像データを高画質、高解像度(310 dpi)、高速で、A6版サイズのプリント紙にフルカラー(各色256階調、1670万色)あるいは白黒でプリントするためのデジタルプリントシステムです。

主な構成例

構成例1



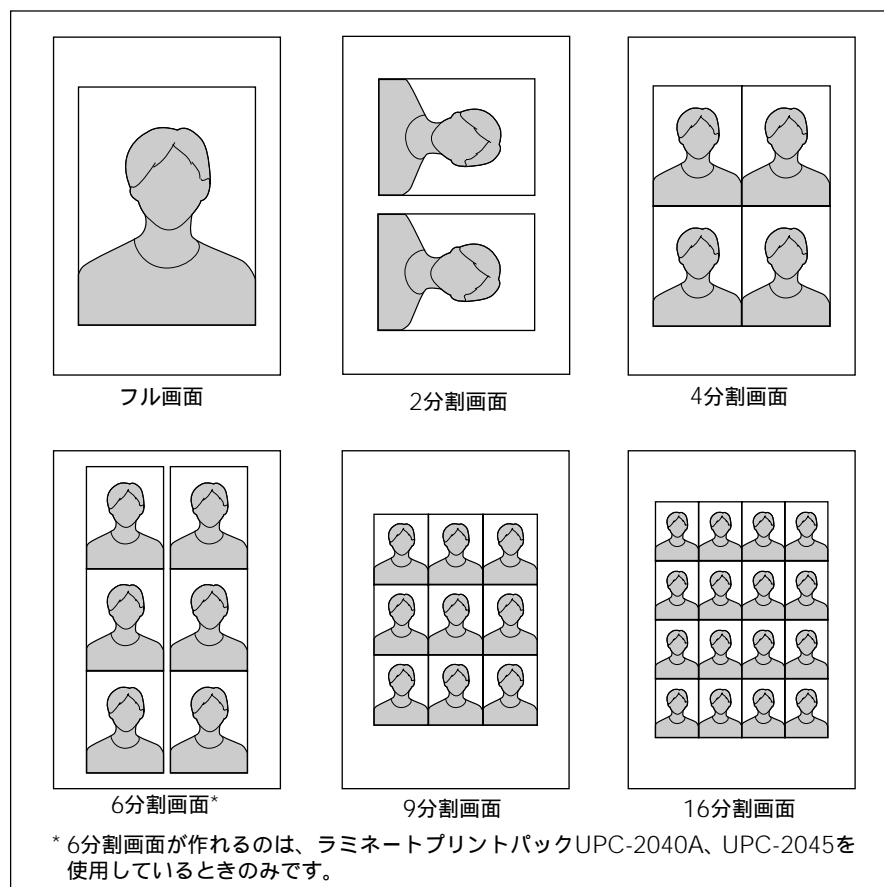
構成例2



本システムで作成できるプリント画

分割画面

分割数を変えると、次のようにいろいろなプリント画を作ることができます。



ご注意

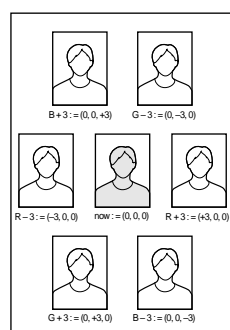
画面の分割数により、プリントされる画像の縦横比が多少異なります。

カラーガイドプリント画

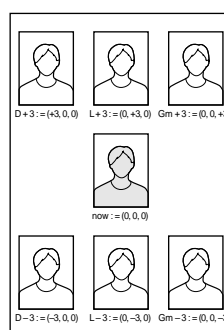
カラーの場合は、調整の目安となるカラーガイドをプリントすることができます。

カラーガイドのプリントについて詳しくは、取扱説明書（応用編）をご覧ください。

色合い (RGB) 調整



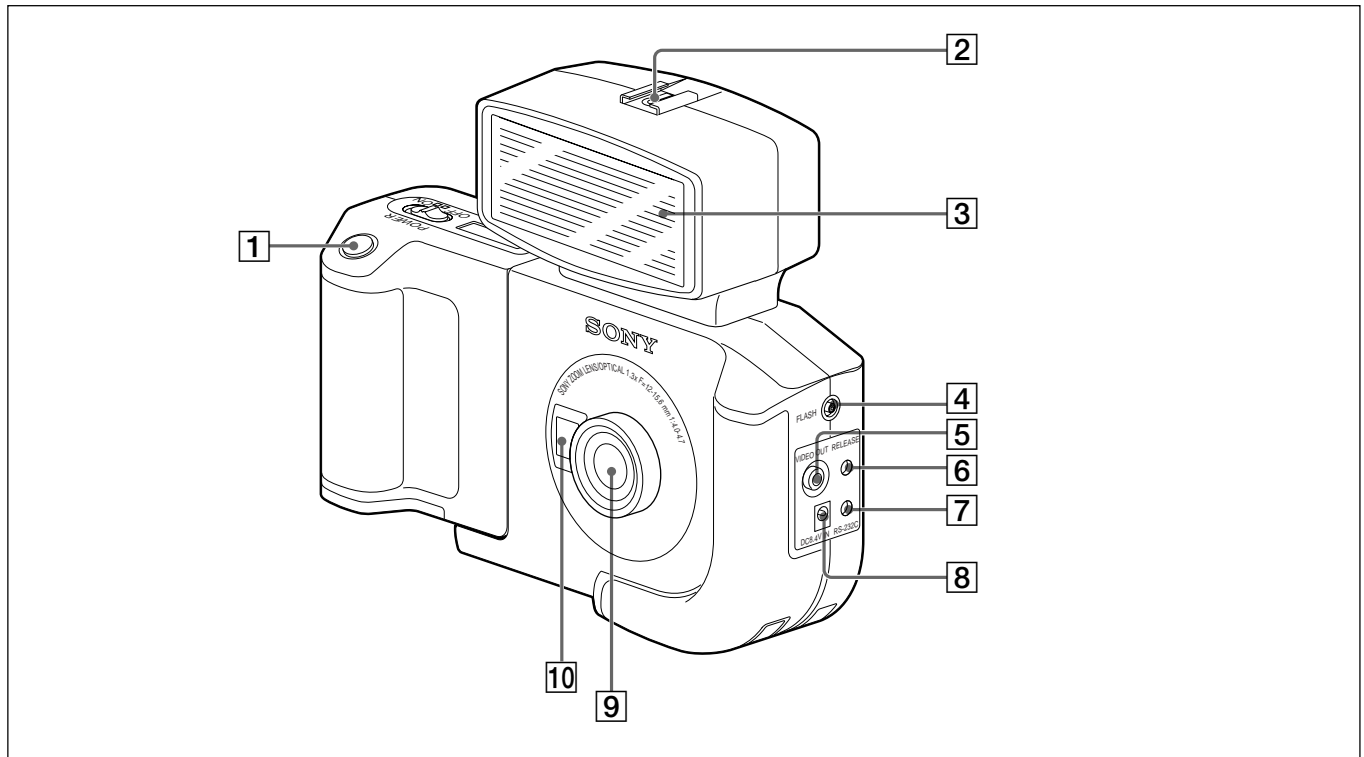
明暗トーン (DARK、LIGHT、GAMMA) 調整



各部の名称と働き ()内の数字は、参照ページを示します。

カメラ

前面



① レリーズボタン (35)

押すと、カメラの液晶画面に表示されている画像をカメラ内部のメモリーに記録します。

② ストロボシュー (取扱説明書 (応用編) をご覧ください)
市販のストロボを使いたいとき、ここに取り付けます。ストロボのコードをFLASH 端子に接続すると、シャッターに同期して発光します。

③ ストロボ (35)
フラッシュモードボタンでの選択に従って発光します。

④ FLASH (フラッシュ) 端子 (取扱説明書 (応用編) をご覧ください)
ホットシュー対応でないストロボを使用するとき、ストロボのコードを接続します。

⑤ VIDEO OUT (ビデオ出力) 端子 (ピンジャック) (取扱説明書 (応用編) をご覧ください)
別売りのビデオケーブルを使って、ビデオモニターの入力端子と接続します。液晶画面に表示されている画像をモニターの画面で見ることができます。

⑥ RELEASE (レリーズ) 端子 (ミニジャック) (取扱説明書 (応用編) をご覧ください)
別売りのリモートレリーズを接続します。

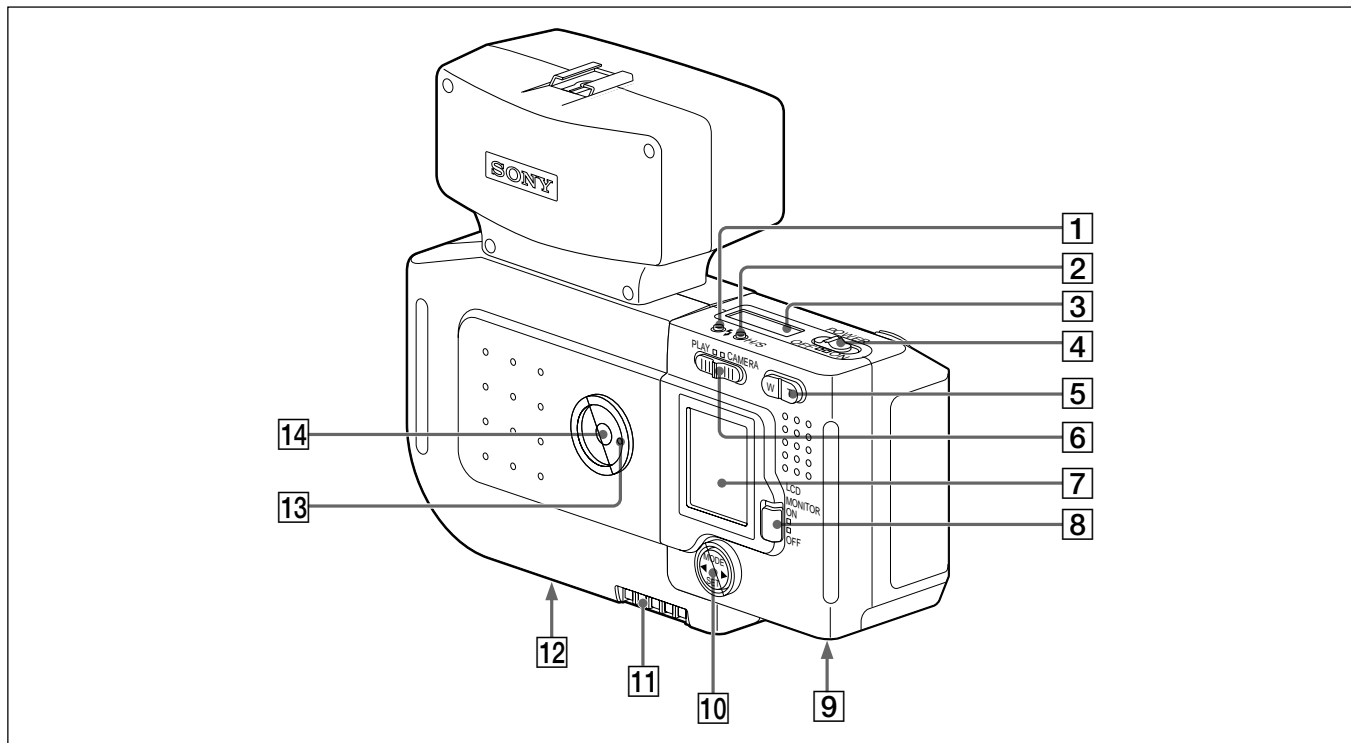
⑦ RS-232C端子 (ミニジャック) (26)
ステーションから離れたところにカメラを置いてプリントしたいとき、付属の接続ケーブルを使用して、ステーションのCAMERA端子と接続します。

⑧ DC8.4V IN端子 (24)
カメラをAC電源で使いたいとき、別売りのACパワーアダプターを接続します。

⑨ レンズ (f=12 ~ 15.6mm、F4 ~ 4.7mm)
自動焦点レンズ

⑩ ファインダー (37)
液晶画面を使わず、ファインダーを使って被写体を見ることができます。暗い場所での撮影に便利です。

後面



① フラッシュモードボタン(取扱説明書(応用編)をご覧ください)

フラッシュモードを選択します。ボタンを押すごとに以下のように設定が変わります。

A⚡: 照明条件を自動測光し、最適なシャッタースピードを選択します。必要に応じて内蔵ストロボが最適な光量で発光します。測光のために本発光の前に事前発光をします。

⚡: 自動測光による最適光量で内蔵ストロボが常に発光します。シャッタースピードは1/250秒に固定され、露出は自動的に制御されます。測光のために事前発光をします。内蔵ストロボだけを使って撮影するときにお勧めします。

⚡E: 内蔵ストロボは常に発光します。シャッタースピードは1/250秒に固定され、露出は被写体間距離1.2mで最適になるよう調整されます。内蔵ストロボのほかに外部ストロボを被写体背面で使用するときなどにお勧めします。

Ⓜ: 内蔵ストロボは発光しません。自動測光により最適シャッタースピードが選択されます。

ⓂE: 内蔵ストロボは発光せず外部ストロボだけが発光します。シャッタースピードは1/250秒に固定されます。

👁️: 本発光の前に何度も事前発光して、ストロボの発光によって起こる赤目現象を減少させます。その他の機能はA⚡と同じです。

② H/S(解像度)ボタン(取扱説明書(応用編)をご覧ください)

撮影する画像の画質を切り換えます。押すたびに、操作画面の表示がS Hi1 Hi2 と切り換わります。

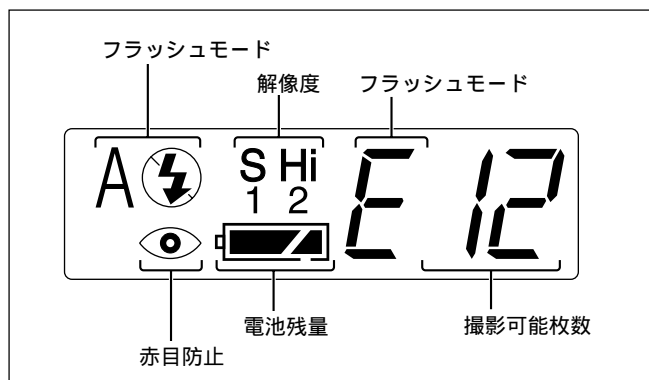
S: 高解像度(640×480)モードになります。撮影できる画像は最大30枚です。

Hi1: 超高解像度1(1280×960)モードになります。撮影できる画像は5枚以上です。

Hi2: 超高解像度2(1280×960)モードになります。撮影できる画像は10枚以上です。

③ 操作画面

POWERスイッチをONにすると、操作や設定状況に応じたマークが表示されます。



各部の名称と働き

④ POWER (電源) スイッチ (35、39)

カメラの電源をON/OFFします。

⑤ ズームレバー (取扱説明書 (応用編) をご覧ください)

画枠のとりかたを調整します。

T: ズーム画面にする。

W: 広角画面にする。

⑥ PLAY/CAMERA (記録 / 再生) スイッチ (35、39、40、43)

PLAY: 撮影した画像を見ると、この位置にします。

CAMERA: 画像を撮影するとき、この位置にします。スタンバイランプが緑色に点灯あるいは点滅します。

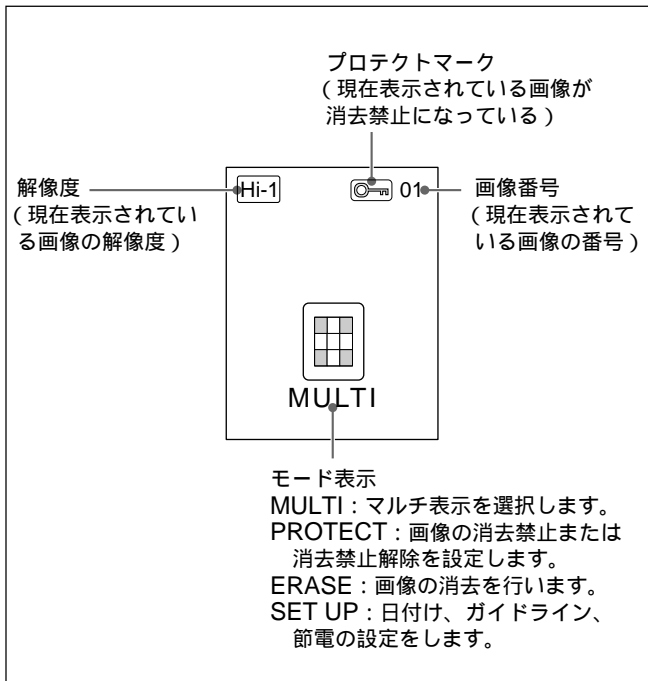
⑦ 液晶画面

LCD MONITOR スイッチをONにし、PLAY/CAMERA スイッチをCAMERAにするとレンズがとらえている画像が表示されます。PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにしたときは再生画像が表示されます。

ステーションを介してカメラをプリンターに接続しているとき、プリンターとの通信中は、画像が消えます。

モードボタンのMODEを押すと、モード画面になります。

モード画面について詳しくは、「モードボタン」をご覧ください。



⑧ LCD MONITOR (液晶画面) スイッチ (35、37)

PLAY/CAMERA スイッチがCAMERAに設定されているとき、液晶画面の表示をON/OFFします。

⑨ 電池挿入ぶた (27)

リチウム電池 (付属のリチウムバッテリーとリチウムボタン電池) を挿入し、ぶたを閉めます。

⑩ モードボタン (39、40、43)

MODE、SET、◀、▶の部分を軽く外側へ倒すように押すと、次のように働きます。

MODE: 押すとモード画面になります。

PLAY/CAMERA スイッチをPLAYに設定したときには、押すたびに、液晶画面に出るモード表示が、無表示 MULTI (マルチ画面) PROTECT (プロテクト設定画面) ERASE (消去画面) SET UP (設定画面) と変わります。

PLAY/CAMERA スイッチをCAMERAにしたとき、押すたびに液晶画面に出るモード表示が、無表示 AUTO/MAN EXPOSURE APERTURE WHITE BALANCE と変わります。

◀または▶を押して選んだ内容や現在進行中の操作をキャンセルしたいときにも、MODE 側を押します。

SET: MODE または◀、▶で選択した内容を確定します。

◀、▶: 表示する画面や、消去する画面、消去禁止にする画面を選択します。

⑪ 接点

カメラとステーションの接点です。汚さないようにご注意ください。汚れが付いたときは、綿棒などできれいにふき取ってください。

⑫ 三脚取り付けネジ穴 (34)

カメラを三脚に取り付けるとき使用します。クイックシューを取り付けることもできます。

⑬ スタンバイランプ (35)

PLAY/CAMERA スイッチがCAMERAに設定されているとき、ランプの点灯 / 点滅で、次の状況を知らせます。

赤の点滅: 録画準備中、内蔵フラッシュ充電中、データ取り込み中 (録画できません)

赤の点灯: メモリーの空きなし

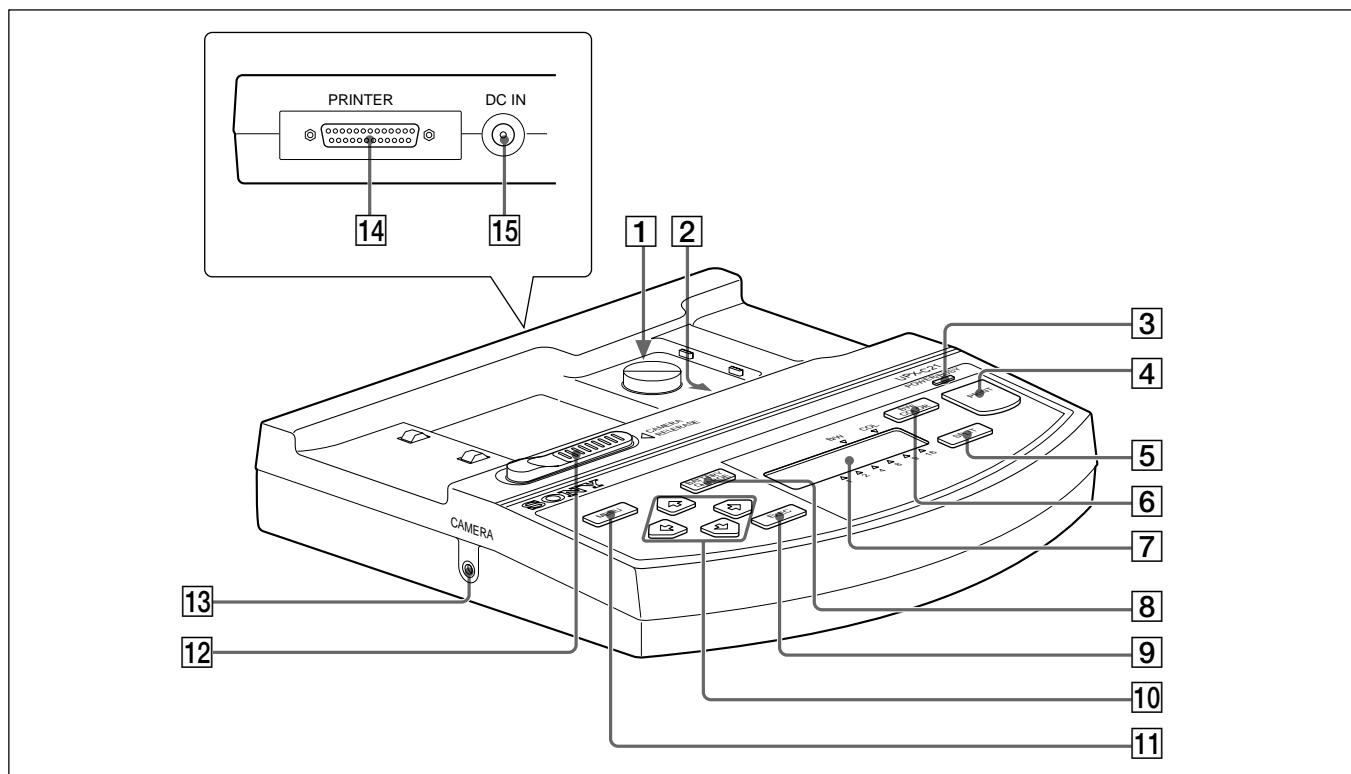
緑の点滅: 露出、絞り、ホワイトバランスの手動設定

緑の点灯: 録画準備完了

⑭ ファインダー (37)

液晶画面を使わず、ファインダーを使って被写体を見ることができます。暗い場所での撮影に便利です。

ステーション



1 カメラ装着位置 (25)
カメラを装着します。

2 接点
ステーションとカメラの接点です。汚さないようにご注意ください。汚れが付いたときは、綿棒などできれいにふき取ってください。

3 POWER / BUSY (電源 / ビジー) ランプ (46)
接続されているプリンターの電源が入ると緑に点灯します。カメラからステーションに画像データが送られている間、赤く点滅します。赤の点滅中はカメラを取り外さないでください。

4 PRINT (プリント) ボタン (45)
カメラ側で選んでいる画像をプリントするときを押します。

5 SPLIT (画面分割) ボタン (45)
プリント画をフル画面 (1) にするか、分割 (2、4、6、9、16) 画面にするかを選びます。

6 B/W COLOR (白黒 / カラー) ボタン (45)
プリント画を白黒またはカラーに切り替えます。

7 液晶画面 (45)
メニュー操作や B/W COLOR ボタン、SPLIT ボタンの設定が表示されます。

8 BATTERY CHARGE (バッテリー充電) ボタン (29)
カメラに挿入した大型の電池を充電するときを押します。

9 EXEC (実行) ボタン (46、47)
メニューで設定した値を保存するとき等に押します。

10 カーソル移動キー (46、47)
メニュー画面での操作に使用します。

11 MENU (メニュー) ボタン (46、47)
メニュー画面を出すときに押します。また、メニュー画面から通常画面に戻るとき押します。

12 CAMERA RELEASE (カメラリリース) レバー (25)
カメラを取り外すときに左に押します。

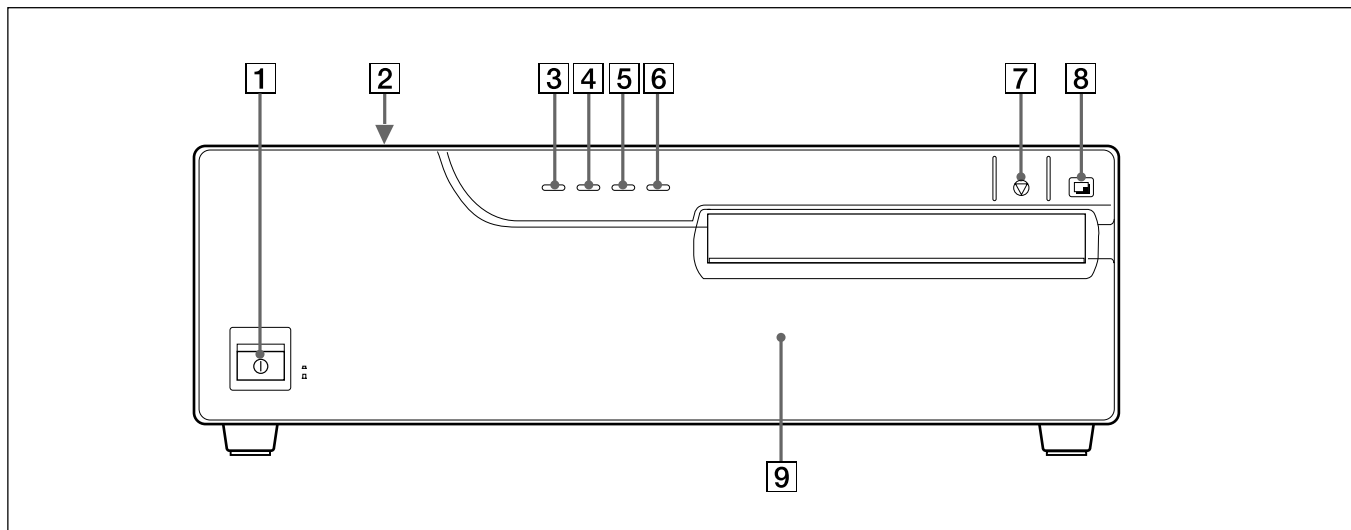
13 CAMERA (カメラ) 端子 (ミニジャック) (26)
カメラをステーションから離れた位置で使いたいとき、カメラの RS-232C 端子と接続します。

14 PRINTER (プリンター) 端子 (D-sub、25ピン) (24)
プリンターのステーション端子と接続します。

15 DC IN (電源入力) 端子 (23)
付属の AC 電源アダプターを接続します。ステーションに DC 電源が供給されます。

プリンター

メインパネル



① ① POWERスイッチ(45)

本機の電源をON / OFF(入 / 切)します。

② 上ふた

つまったプリント紙を取り出すときに開けます。

③ PRINTランプ(45、56)

プリント中点灯します。

④ ALARMランプ(45、56)

紙づまりなど、エラーが起きたとき点灯します。

⑤ RIBBONランプ(45、56)

インクリボンカートリッジに係わるエラーが起きたとき点灯します。

⑥ PAPERランプ(45、56)

プリント紙に係わるエラーが起きたとき点灯します。

⑦ ㊄ STOPボタン

プリントを途中で終らせるときに押します。

⑧ ㊄ PRINTボタン

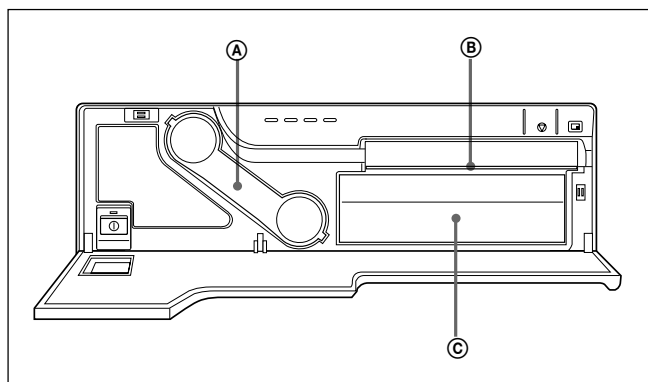
プリンターのメモリーに記憶している画像を再度プリントするときに押します。

⑨ フロントドア

フロントドアの上部を手前に引いて開けます。

フロントドア内部には、給紙トレイ、インクリボンカートリッジ、排紙トレイなどがあります。

フロントドア内部



Ⓐ インクリボンカートリッジ(16)

インクリボンカートリッジを装着します。

Ⓑ 排紙トレイ(19)

プリント画が排出されるトレイです。

Ⓒ 給紙トレイ(19、21)

プリント用紙を入れておくトレイです。

後面



① ステーション端子(24)

ステーションのプリンター接続ケーブルを接続します。

② ~AC IN(電源入力)端子(23)

電源コード(付属)をつなぎます。

プリンターの準備

初めてプリンターをお使いになる場合は、付属品を確認し、組み立ててからお使いください。

ここでは、実際のプリントを始める前の準備として、次の操作について説明します。

- インクリボンカートリッジ（別売りのプリントパックの構成部品）を取り付ける。（下記）
- プリント紙と排紙トレイを入れる。（19ページ）

これらの操作は、日常のプリント操作で毎回する準備ではありません。必要に応じて行ってください。

インクリボンカートリッジを取り付ける

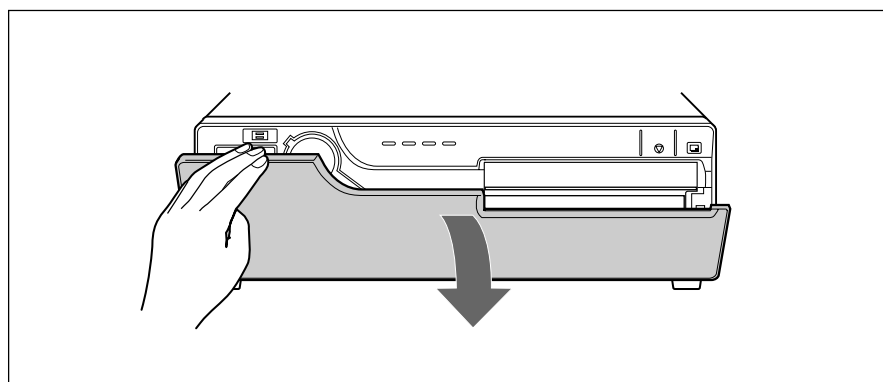
プリントするには、インクリボンカートリッジとプリント紙が必要です。

インクリボンカートリッジとプリント紙は、同じ箱に入っているものを組み合わせてお使いください。（詳しくは「使えるプリントパックとペーパートレイについて」(21ページ)をご覧ください。）

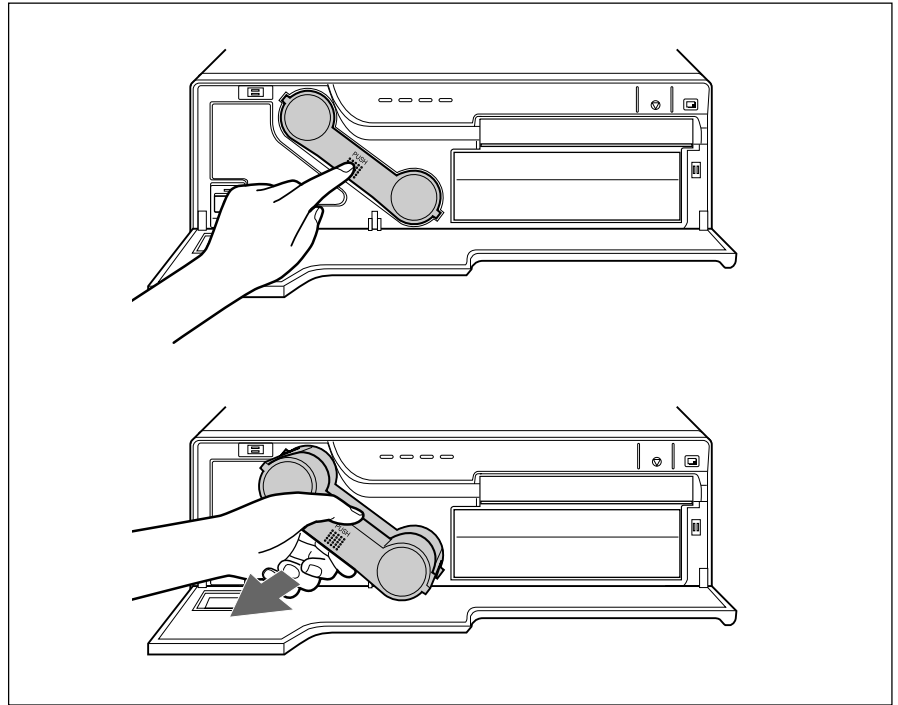
ご注意

- 異なった組み合わせのインクリボンカートリッジとプリント紙を使用すると、誤動作や故障の原因となることがあります。
- プリンター使用中にインクリボンカートリッジを交換する場合は、電源を切らないでください。電源を切るとメモリーに記憶した画像は消えてしまいます。

1 フロントドアの上部を手前に引いて開ける。

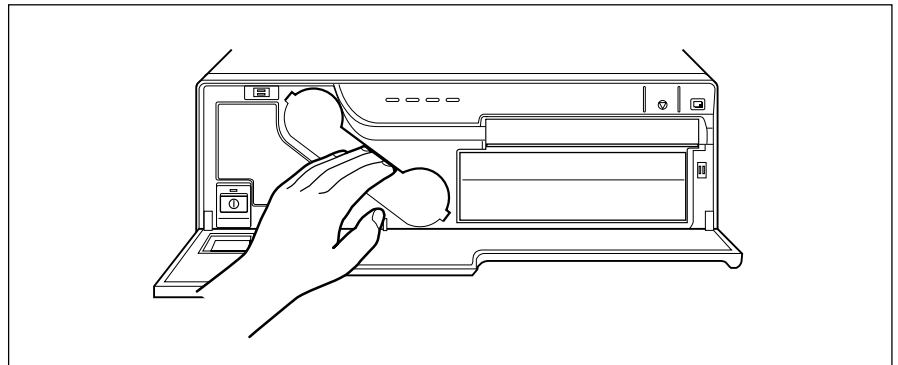


- 2** インクリボンカートリッジを押して取り出す。
初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。

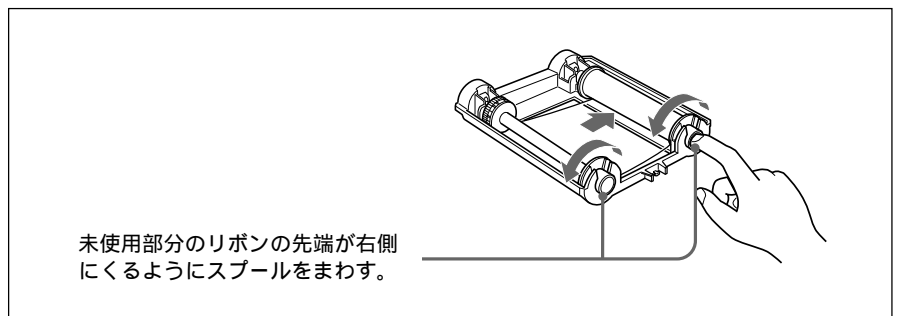


注意

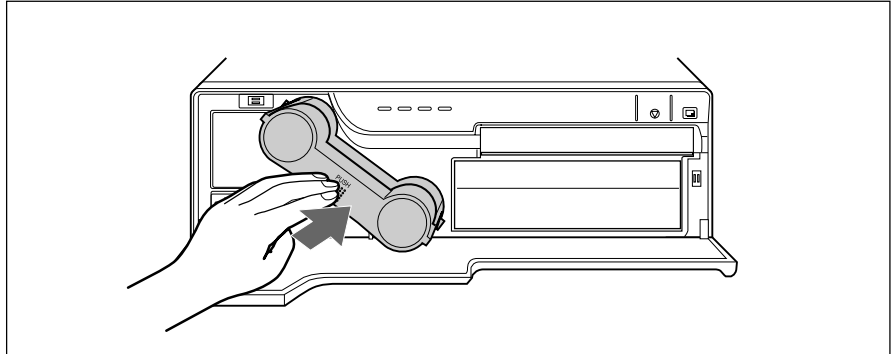
インクリボンカートリッジ装着口の内部に手を入れないでください。中にあるプリントヘッドが熱くなっている場合があります。



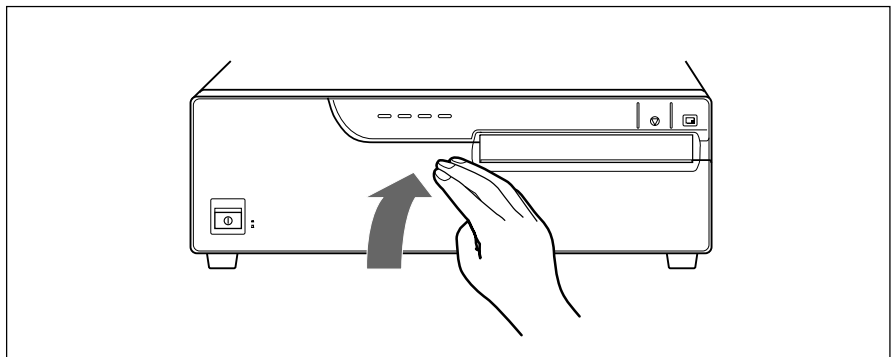
- 3** インクリボンのたるみを取る。
たるんだまま差し込むと、挿入時にリボンが傷んでしまうことがあります。



4 インクリボンカートリッジを入れ、止まるまで押し込む。



5 フロントドアを閉じる。



ご注意

インクリボンカートリッジを取り扱うときは

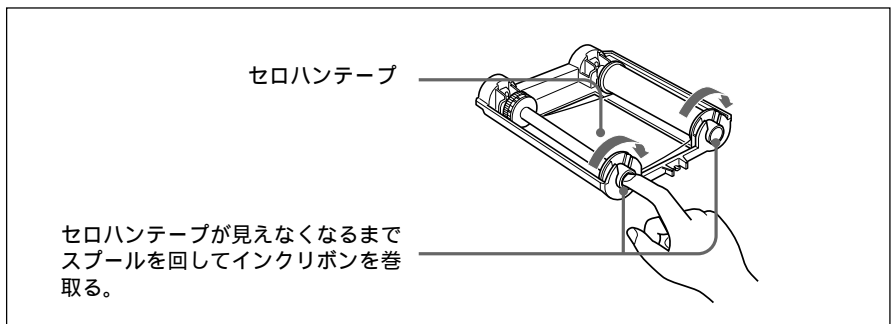
- 使用済みのインクリボンカートリッジを再度使用しないでください。
- インクリボンカートリッジは、表面に触れたりほこりの多いところに置かないでください。手あかやほこりが付着すると、プリント画が汚れたり、ヘッドの故障の原因になることがあります。

インクリボンカートリッジを保存するときは

- 温度や湿度の高いところ、ほこりの多いところや直射日光のあたるところでの保存は避けてください。
- 使用中で長期保存する場合は、製品の入っていた防湿袋にいれて保存してください。

インクリボンが途中で切れてしまったときは

透明なセロハンテープなどでつなげば、残りのリボンを使うことができます。



プリント紙と排紙トレイを入れる

次の手順でプリント紙を入れます。プリント紙とカートリッジは、同じ箱に入っているものを組み合わせてお使いください。また、プリント紙のサイズに合ったペーパートレイをご使用ください。

ご注意

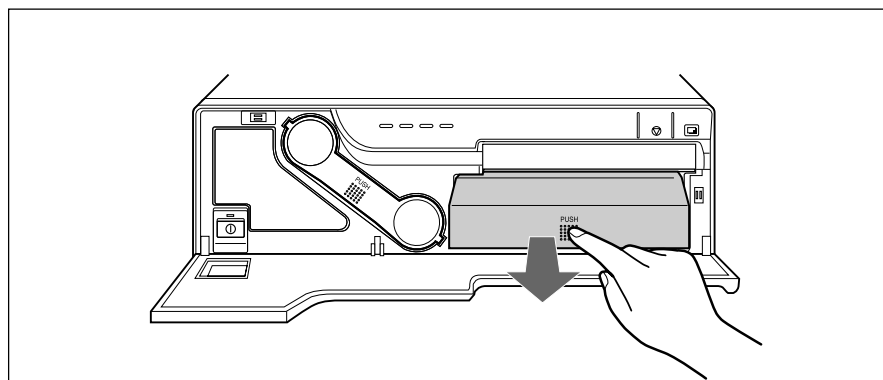
- 異なった組み合わせのインクカートリッジとプリント紙を使用すると、誤動作や故障の原因となることがあります。
- プリンター使用中にプリント紙を入れ替える場合は、電源を切らないでください。電源を切るとメモリーに記憶した画像が消えてしまいます。
- プリント紙を取り扱うときは、プリント面には手を触れないようにしてください。

1 フロントドアの上部を手前に引っぱって開ける。

2 給紙トレイ上のPUSHと書いてある部分を押し。

給紙トレイが出てきます。

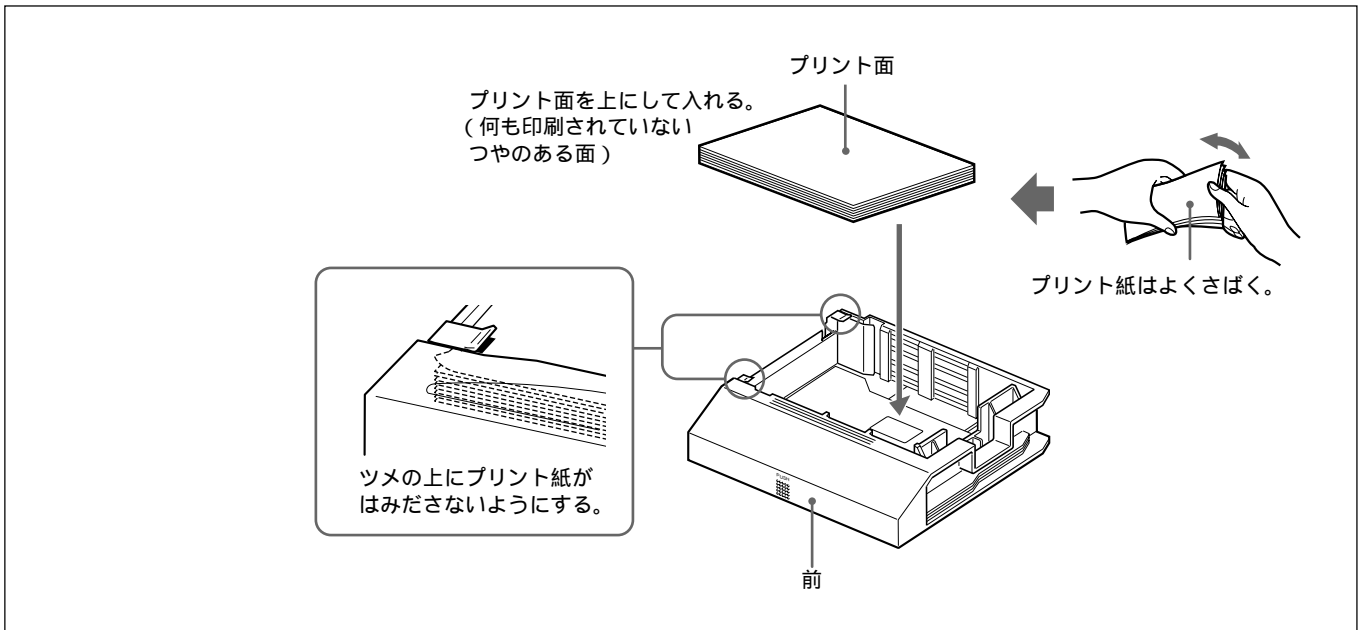
初めてプリンターをお使いになる場合は、この操作は不要です。



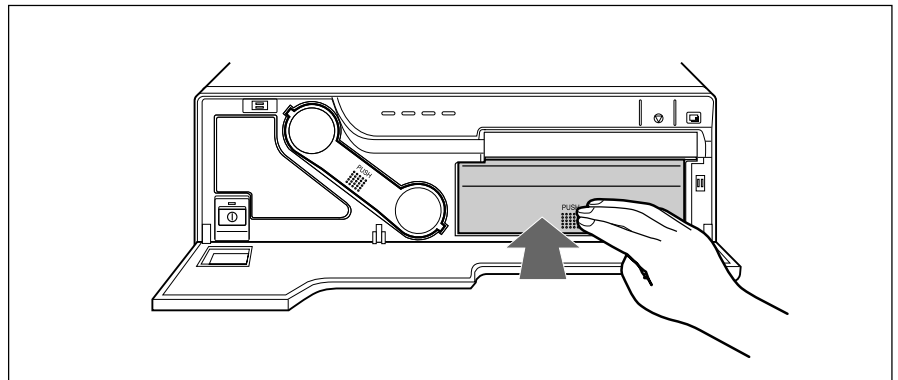
3 プリント紙を給紙トレイに入れる。

ご注意

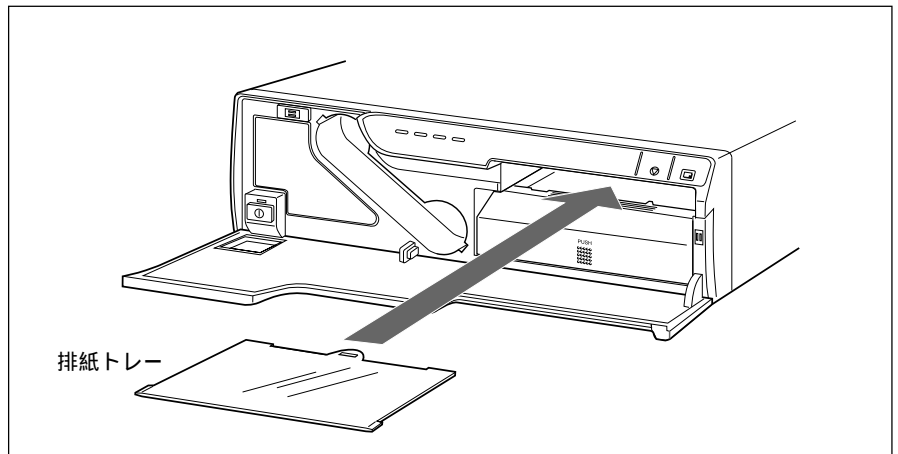
- トレーに入る紙の量は、使用するプリント紙により異なります。プリント紙を追加する場合は、紙の量を加減してください。入れすぎると、紙づまりの原因になります。使用する紙の量について詳しくは、「使えるプリントバックとペーパートレイについて」(19ページ)をご覧ください。
- 給紙トレイにプリント紙を入れるときは、トレイに紙が完全に収まるよう正しく入れてください。反りのある紙を使うと、トレイから紙がはみ出し、プリント位置がずれることがあります。プリント位置がずれるときは、紙の量を減らしてください。



4 給紙トレーをカチッと音がするまで差し込む。



5 排紙トレーを入れる。



6 フロントドアを閉める。

ご注意

プリント紙を取り扱うときは

印刷面に触れないようにしてください。ほこりや指紋がつくと印刷品質の劣化やヘッドの機能を損なう恐れがあります。プリント用紙を持つときは、印刷面保護シートを使ってください。

プリント紙を保存するときは

- 温度や湿度の高いところ、直射日光の当たるところでの保存はさけてください。
- ほこりの多いところに置かないでください。ほこりや砂が付着すると、ヘッドの故障の原因となることがあります。
- 使用中で本体から取り外して長期保存する場合は、プリント紙の入っていた袋などに入れて保存してください。

使えるプリントパックとペーパートレーについて

インクリボンカートリッジとプリント紙は、同じプリントパックの箱に入っているものをペアでお使いください。

インクリボンカートリッジとプリント紙を異なった組み合わせで取り付けした場合、本来の画質が得られない場合があります。プリントのトラブルや故障の原因となる場合があります。

ペーパートレーについて

付属のペーパートレーは、プリント紙のサイズに合わせて2種類用意されています。プリント紙のサイズに合ったペーパートレーをご使用ください。

大型ペーパー用トレイと一緒に使用するプリントパック

ラミネートプリントパックUPC-2040A

ラミネート加工用のインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6 サイズプリント紙 120枚(サイズはほかのプリントパックより少し大きくなっています)

ラミネートプリントパックUPC-2045

ラミネート加工用のインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6 サイズプリント紙 120枚(サイズはほかのプリントパックより少し大きくなっています)

葉書き用プリントパックUPC-2070E

葉書き用のインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6 サイズプリント紙 150枚(サイズはほかのプリントパックより少し大きくなっています)

小型ペーパー用トレーと一緒に使用するプリントパック

ステッカー16分割用プリントパックUPC-20S16

ステッカー16分割画面用のカラーのインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

プリントパックUPC-2010

インクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

ステッカー用プリントパックUPC-20S01

ステッカー用のインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

ステッカー4分割用プリントパックUPC-20S04

ステッカー4分割画面用のカラーのインクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

プリント用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

白黒用プリントパックUPC-2020

インクリボンカートリッジとプリント紙が入っています。

白黒用インクリボンカートリッジ 1巻

A6サイズプリント紙 200枚

詳しくは、お買い上げ店、お近くのソニーご相談窓口にお問い合わせください。

接続する

ステーションとプリンターを接続します。

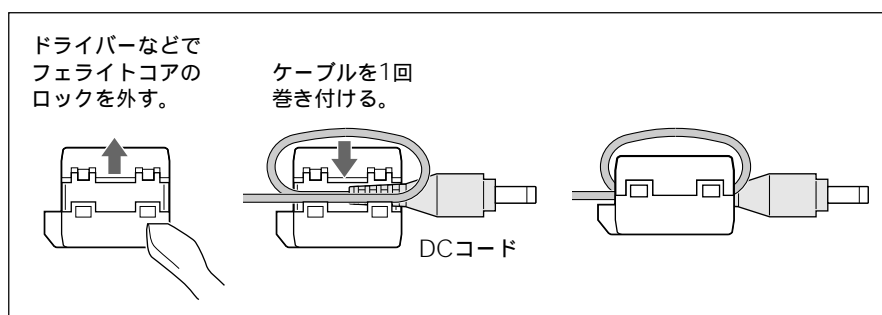
ご注意

- 接続するときは、すべての機器の電源を必ず切ってください。
- プリンターケーブルのコネクターは最後までしっかり挿入してください。

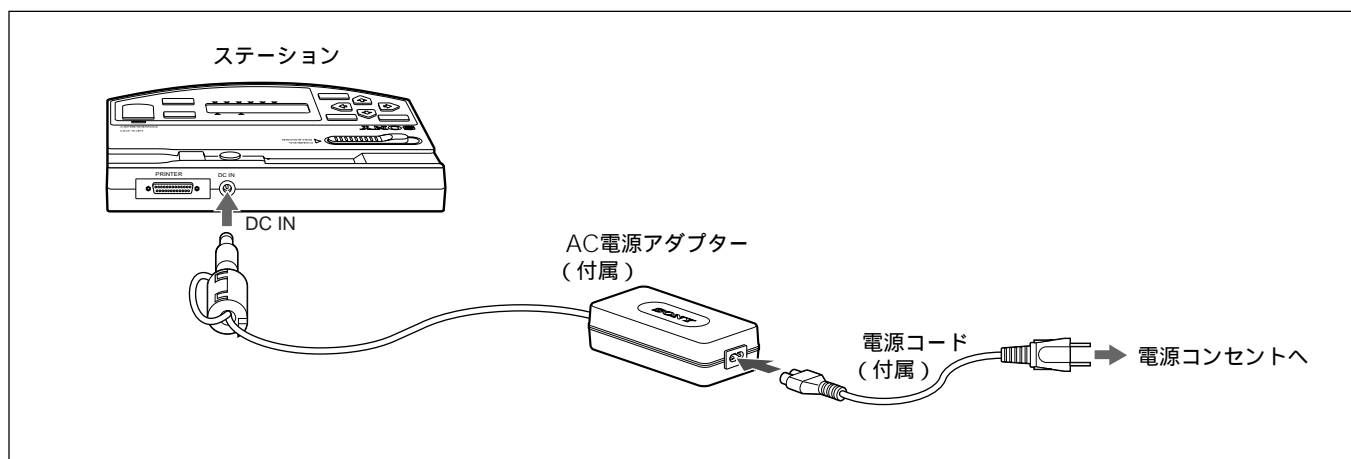
電源に接続する

ステーションをAC電源に接続する

1 付属のAC電源アダプターのDCコードにフェライトコアを取り付ける。



2 AC電源アダプターをステーションに接続する。

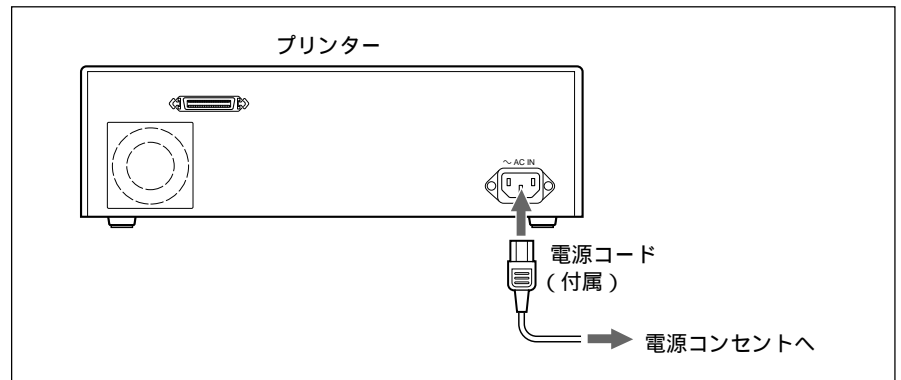


3 AC電源アダプターを電源コンセントに接続する。

ステーションへ電源が供給されます。

ステーションへの電源の供給を止めるには
AC電源アダプターを電源コンセントから抜いてください。

プリンターをAC電源に接続する
付属の電源コードを使ってプリンターを電源コンセントに接続します。



カメラをAC電源で操作するには
別売りのAC-615 AC電源アダプター/チャージャーを使うと、AC電源でカメラを操作することができます。AC電源アダプター/チャージャーのDC OUT 端子とカメラのDC8.4V IN 端子を接続します。

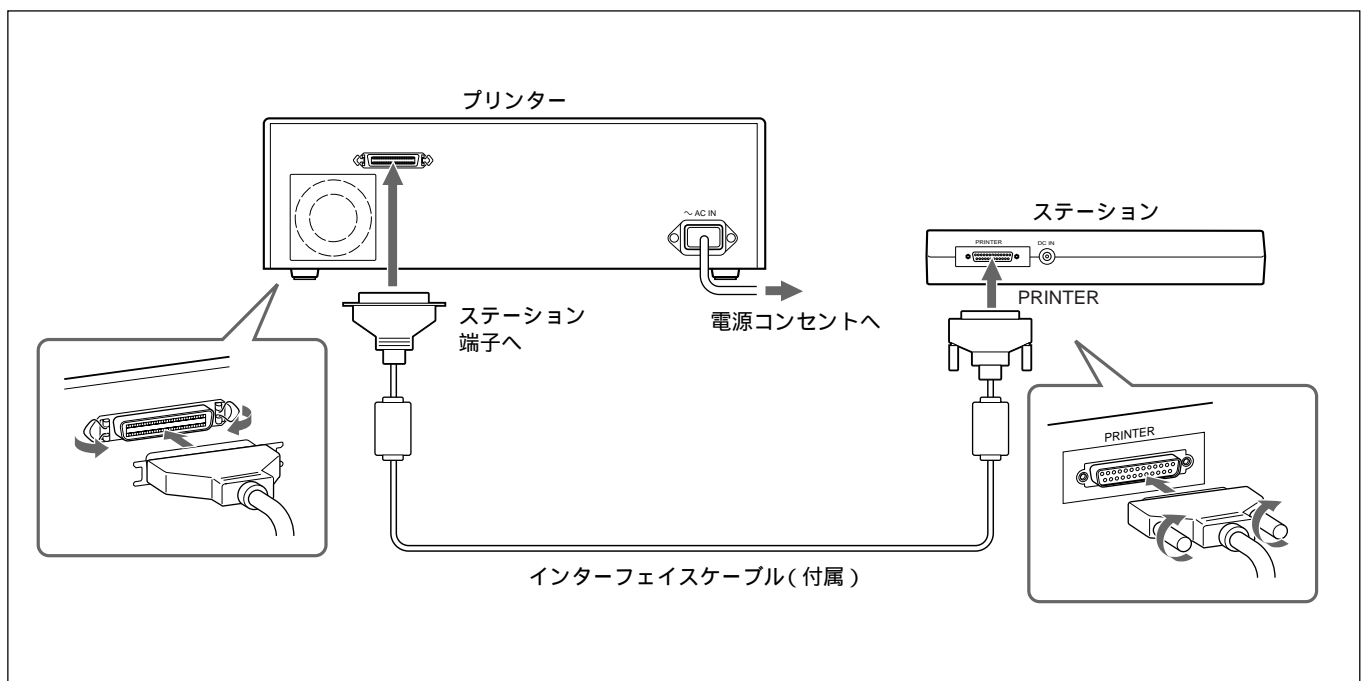
詳しくは、AC電源アダプター/チャージャー付属の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ACアダプターはコンセントの近くでお使いください。本機をご使用中に不具合を生じたときは、すぐにコンセントから抜き、電源を遮断してください。

ステーションとプリンターを接続する

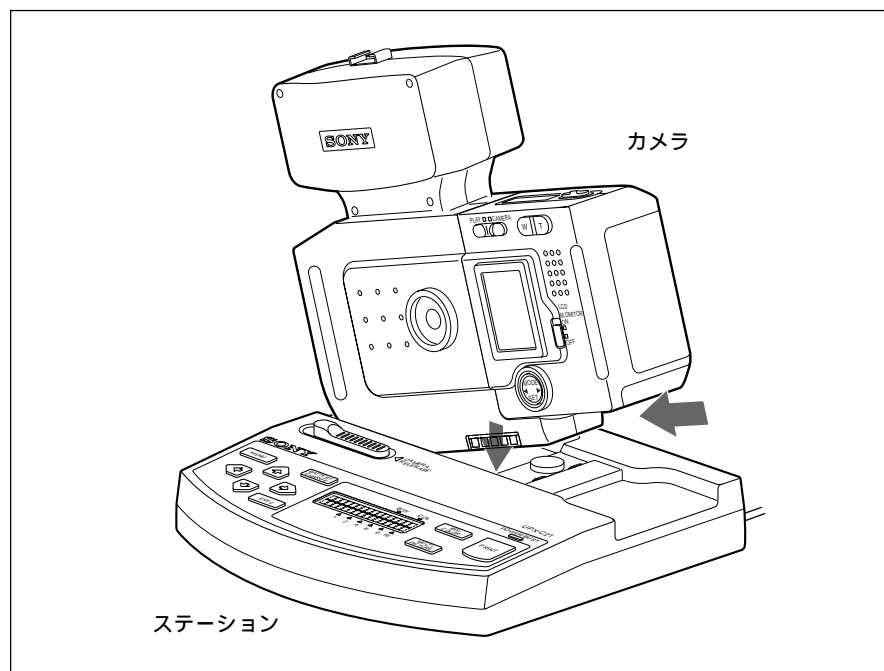
付属のインターフェイスケーブルを使ってステーションとプリンターを接続します。



ステーションとカメラを接続する

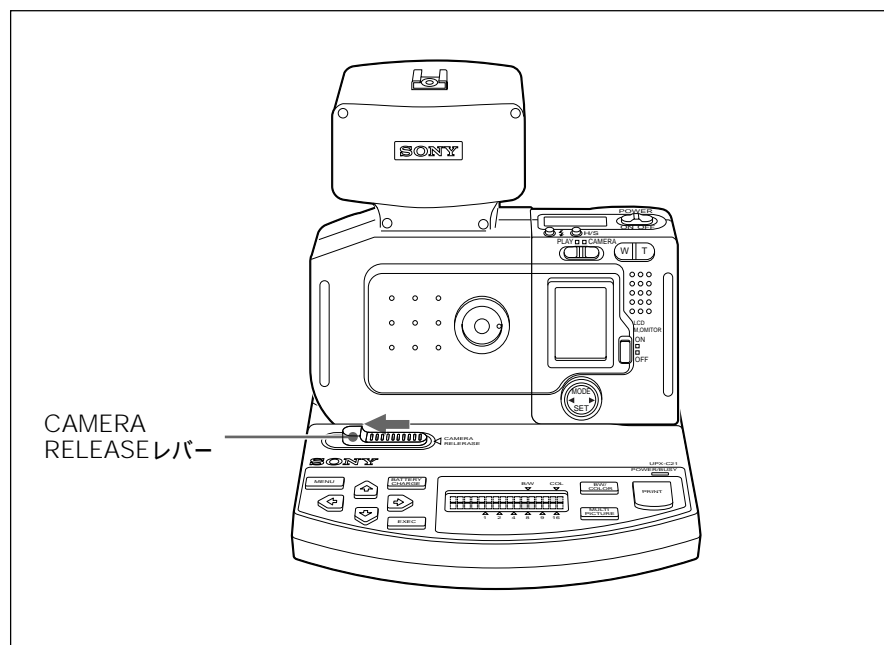
カメラ撮影終了後、プリントの際に、カメラをワンタッチでステーションに取り付けて使うことができます。また、カメラを直接ステーションに取り付けず、ケーブルで接続して使うこともできます。

ステーションへのカメラの取り付け



カメラをステーションからはずす

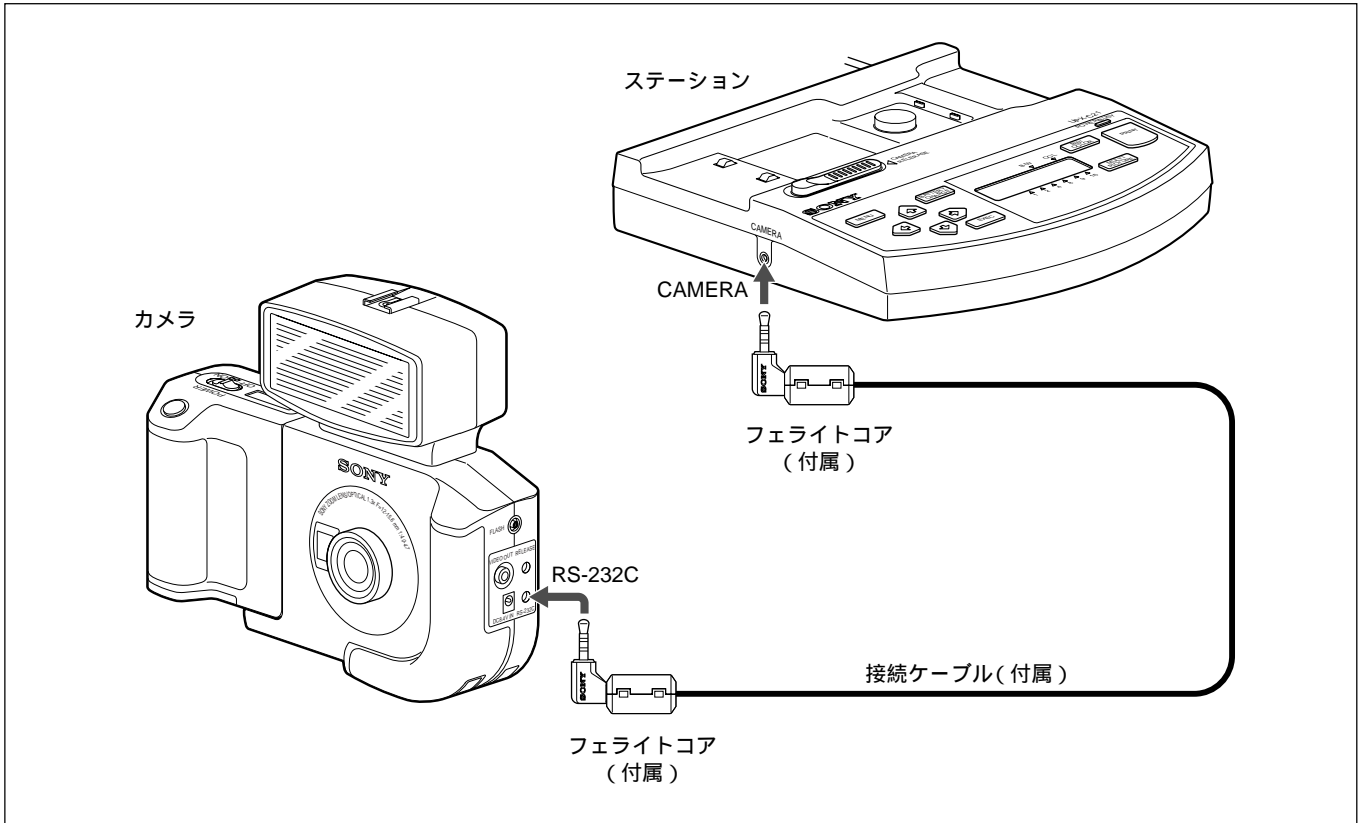
CAMERA RELEASE レバーを左に押すとカメラがはずれます。



ケーブルを使ったカメラとステーションの接続

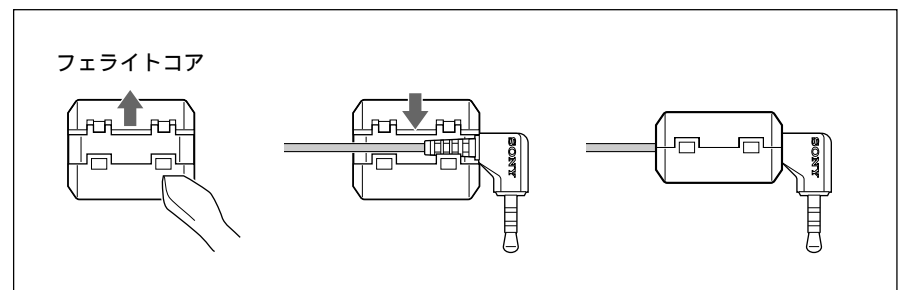
カメラとステーションをケーブルを使って接続することができます。付属の接続ケーブルを使って、カメラのRS-232C 端子とステーションのCAMERA 端子を接続します。

接続ケーブルのプラグ寄りの位置に、下図のように付属のフェライトコアを取り付けてください。



フェライトコアの取り付けかた

ドライバーなどを使ってフェライトコアのロックを外します。フェライトコアの位置を固定するために、下図のようにケーブルを1回巻き付けてからロックする。

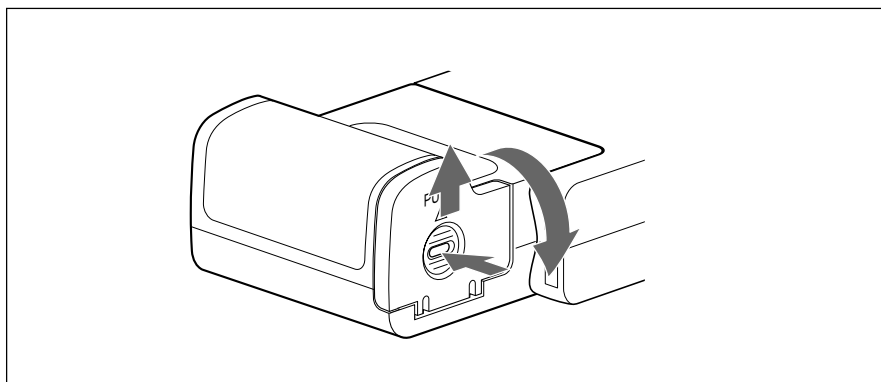


カメラの準備

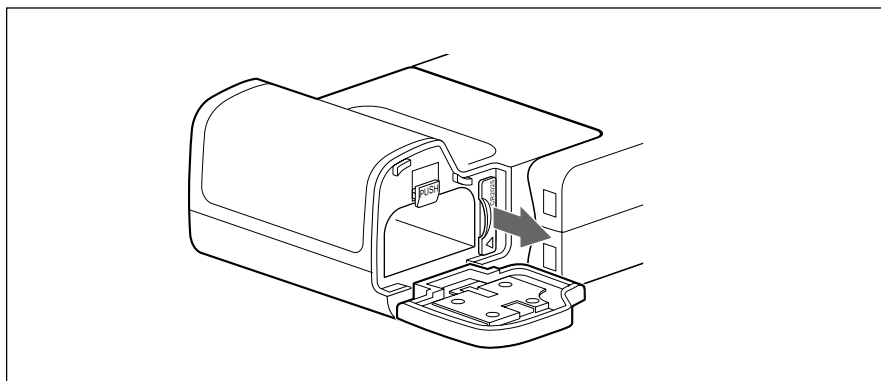
電池を入れる

本機にはリチウムイオン電池が2個(大型電池とボタン電池)付属しています。次の手順で挿入します。

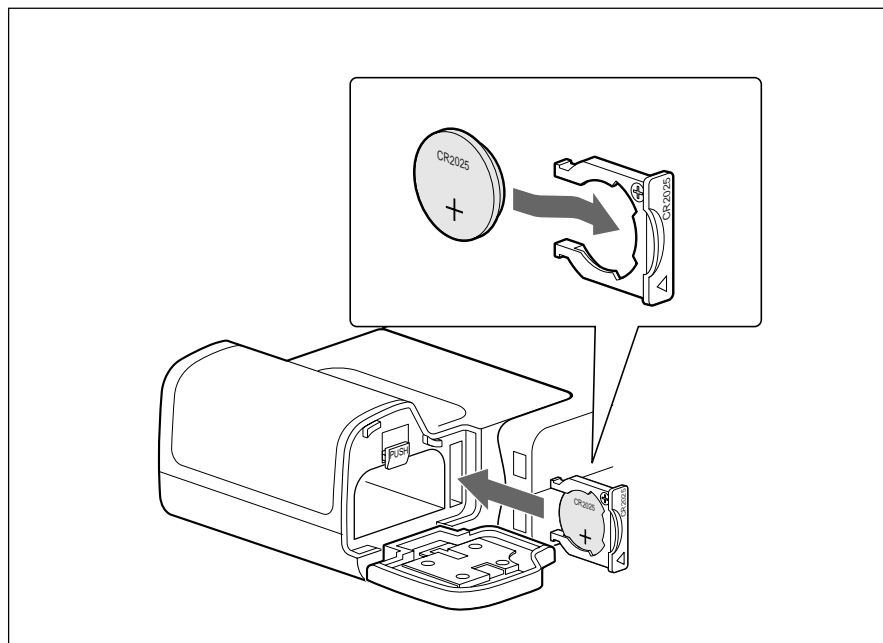
- 1** PUSH ボタンを押しながら、電池挿入ぶたを矢印の方向にずらしてあげる。



- 2** ボタン電池ケースを引き出す。

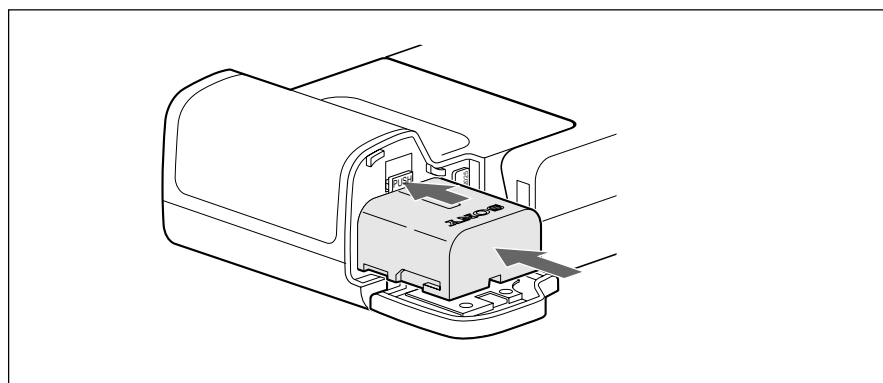


3 ボタン電池をケースに挿入する。

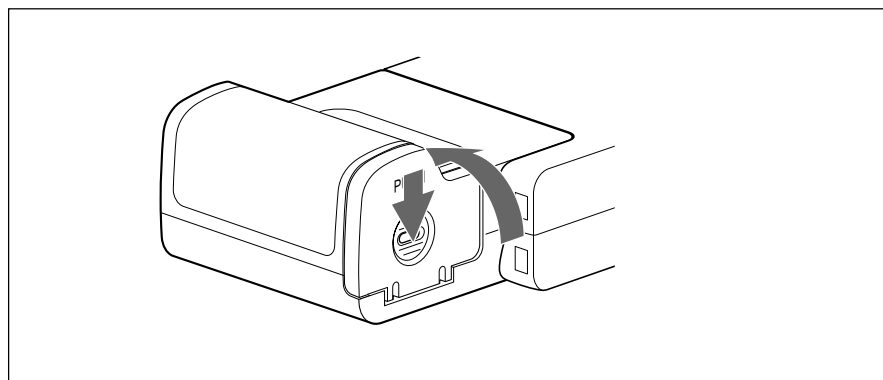


4 ボタン電池ケースを元に戻す。

5 大型リチウム電池を挿入する。

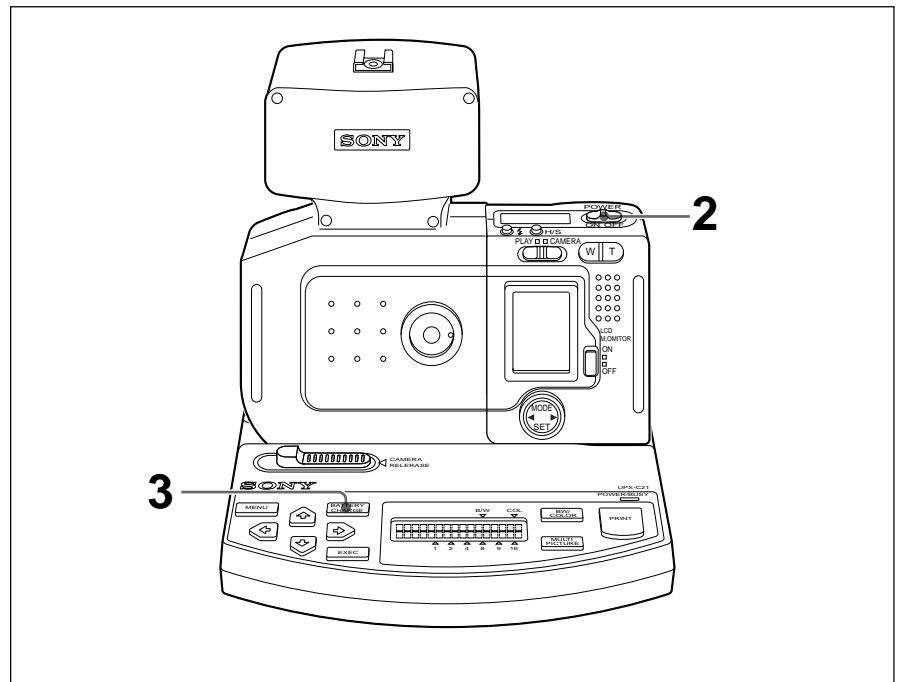


6 ふたを閉める。



電池を充電する

大型リチウム電池は充電できます。表示部の電池残量表示が完全充電でないときは充電することをお勧めします。



- 1 カメラをステーションに取りつける。
- 2 カメラのPOWERスイッチをOFFにする。
- 3 ステーションのBATTERY CHARGE ボタンを押す。

充電が始まり、ステーションの液晶画面にCHARGINGが表示されます。

電池の充電が終わったら

液晶画面のCHARGINGの表示が消えると充電完了です。ステーションのCAMERA RELEASEレバーを左に押してカメラをステーションからはずします。

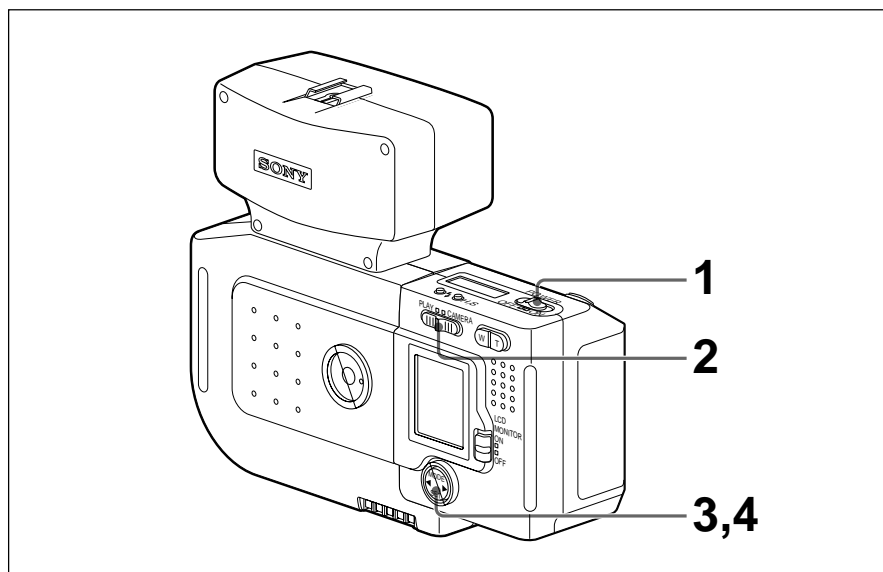
充電についてのご注意

電池残量表示が完全充電でない場合は充電することをお勧めします。

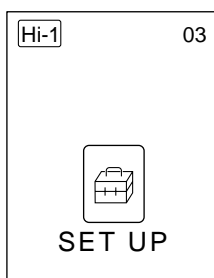
時計、フレーム、パワーセーブの設定

カメラの液晶画面のSET UP画面で、日付けと時間、フレーム、パワーセーブモードの設定ができます。

SET UP画面を表示する

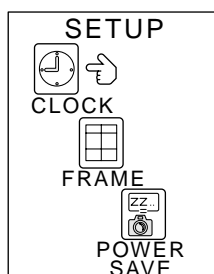


- 1 POWERスイッチをONにする。
- 2 PLAY/CAMERAスイッチをPLAYにする。
- 3 モードボタンのMODEを4回押して、液晶画面にSET UPを表示させる。



- 4 モードボタンのSETを押す。

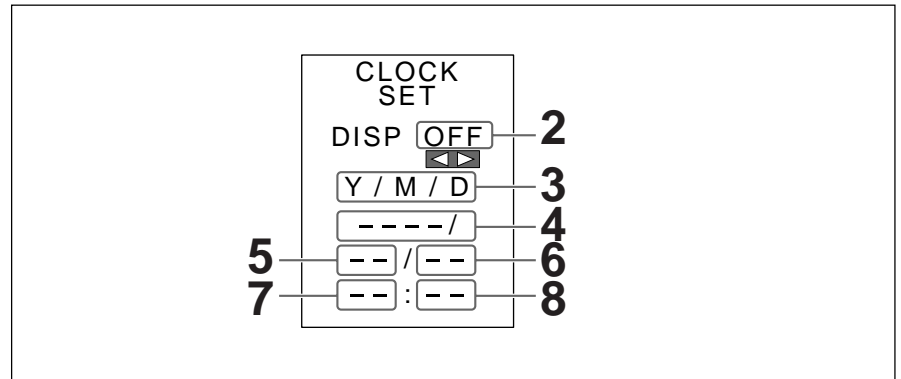
SET UP画面が表示されます。選択マークはCLOCKを指しています。



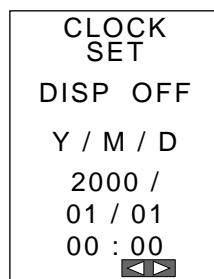
時間と日付けを設定する

- 1 選択マークがCLOCKに合っていることを確かめて、モードボタンのSETを押す。

CLOCK SET画面が表示されます。



- 2 モードボタンの◀または▶を押してDISP(日付け表示)をONまたはOFFに設定し、モードボタンのSETを押す。
- 3 モードボタンの◀または▶を押して日付け表示の順序(Y/M/D、M/D/YまたはD/M/Y、Y:年、M:月、D:日)を選択し、モードボタンのSETを押す。
- 4 モードボタンの◀または▶を押して年を合わせ、モードボタンのSETを押す。
- 5 モードボタンの◀または▶を押して月を合わせ、モードボタンのSETを押す。
- 6 モードボタンの◀または▶を押して日を合わせ、モードボタンのSETを押す。
- 7 モードボタンの◀または▶を押して時(24時制)を合わせ、モードボタンのSETを押す。



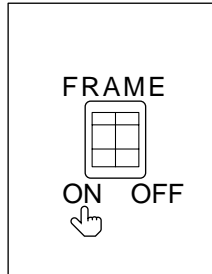
- 8 モードボタンの◀または▶を押して分を合わせ、モードボタンのSETを押す。

日付けと時間の設定はこれで終了です。

液晶表示画面にガイドラインを表示する

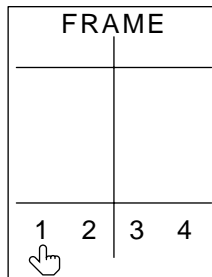
- 1 カメラの液晶表示画面にSET UP 画面を表示し、モードボタンの▶を押して選択マークをFRAME (ガイドライン) に合わせ、モードボタンのSETを押す。

FRAME ON/OFF 画面が表示されます。



- 2 モードボタンの◀または▶を押してON(枠を表示する)を選択し、モードボタンのSETを押す。

FRAME 選択画面が表示されます。



- 3 モードボタンの◀または▶を押してモード1、2、3、4を選択し、モードボタンのSETを押す。

選択したガイドラインが液晶画面に表示されます。

ガイドラインについての詳細は、「被写体とレンズの最適距離」(36ページ)をご覧ください。

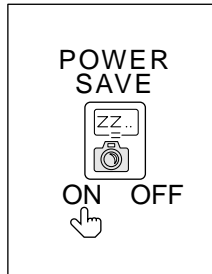
液晶表示画面のガイドラインを消すには
上記手順2でOFFを選択し、モードボタンのSETを押します。

パワーセーブ(節電)を設定する

パワーセーブモードのときは、操作しない時間が3分間すぎると、カメラは電源オフと同等の状態になります。PLAY/CAMERAスイッチがPLAYの場合は、POWERスイッチをOFFにしてから再びONにします。また、PLAY/CAMERAスイッチがCAMERAの場合は、リリースボタンを半押しにすると復旧します。

- 1 カメラの液晶画面でSET UP画面を表示し、モードボタンの▶を押して選択マークをPOWER SAVEに合わせ、モードボタンのSETを押す。

POWER SAVE ON/OFF画面が表示されます。



- 2 モードボタンの◀または▶を押してON(節電)を選択し、モードボタンのSETを押す。

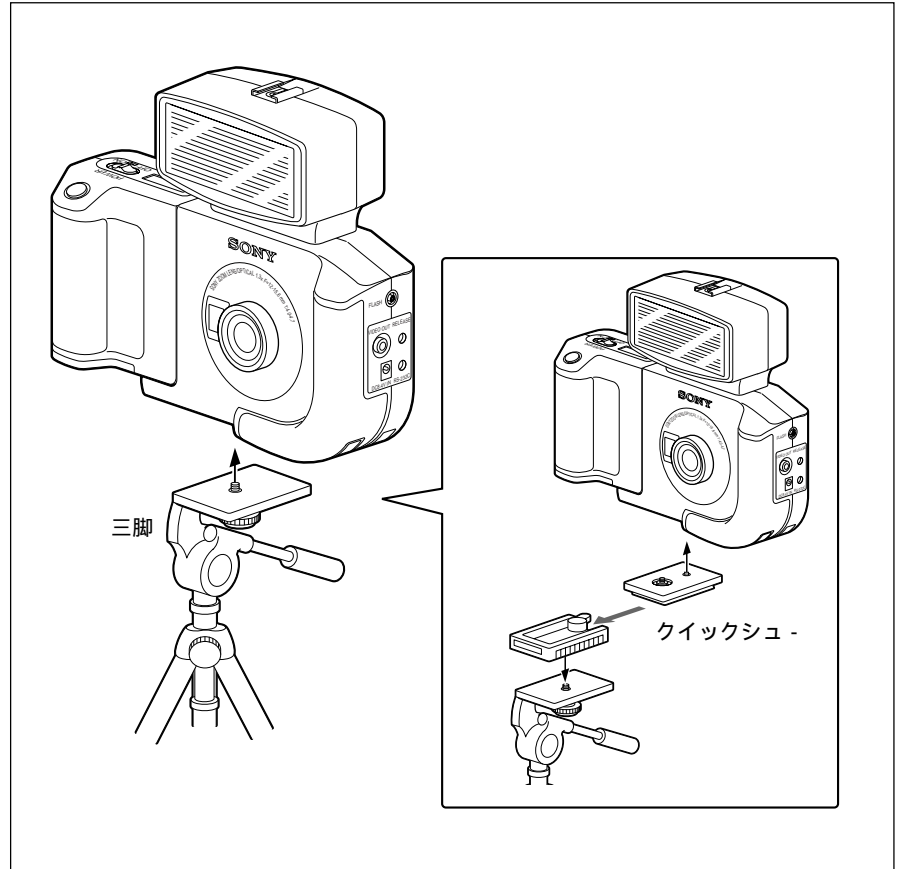
パワーセーブモードに設定されます。

パワーセーブの設定を解除するには

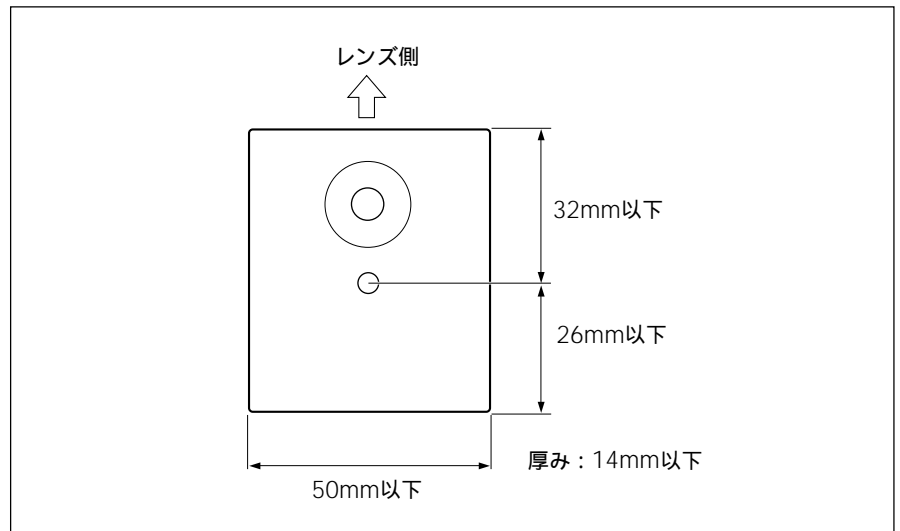
上記手順2でOFFを選択し、モードボタンのSETを押します。

三脚へ取り付ける

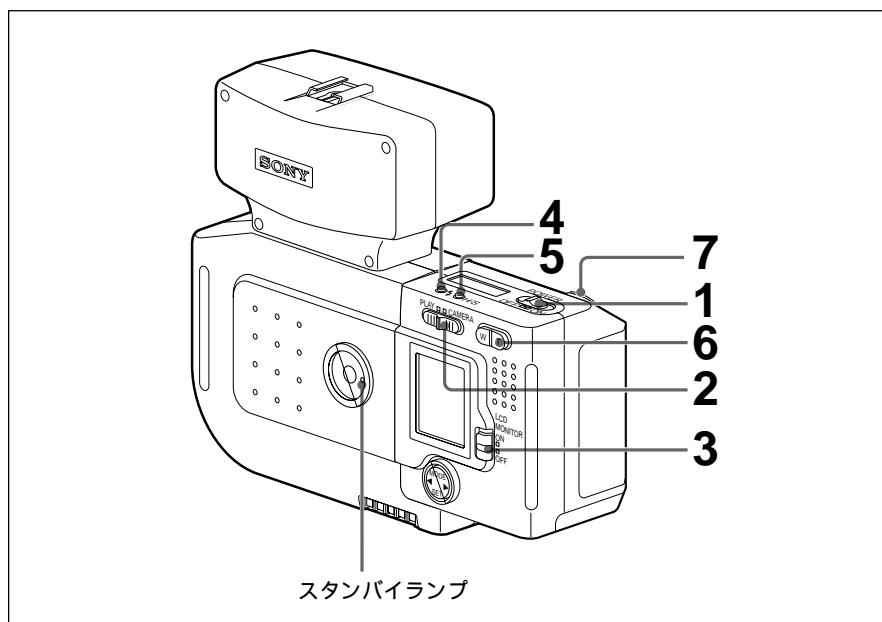
カメラ底面の三脚取り付けネジ穴を使って、カメラを三脚に取り付けることができます。
市販のクイックシュー - を装着すると、簡単に取り付け / 取り外しができます。



使用できるクイックシューのサイズ



撮影する



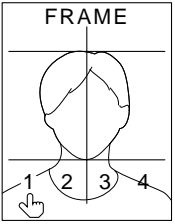
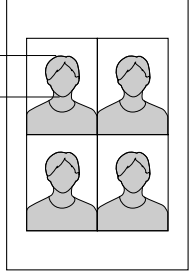
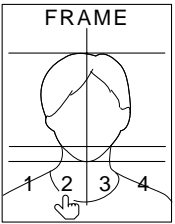
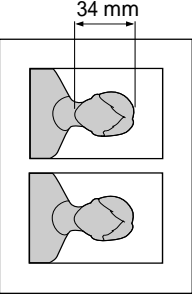
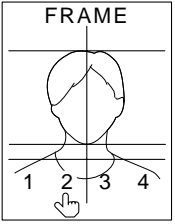
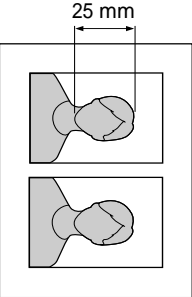
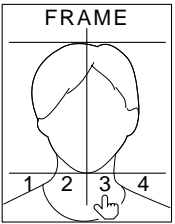
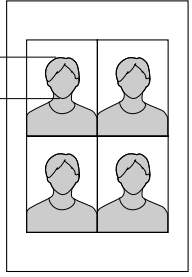
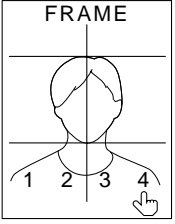
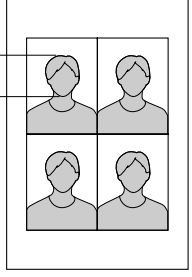
- 1** POWERスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERAスイッチをCAMERAにする。
スタンバイランプが緑に点灯します。
- 3** LCD MONITORスイッチをONにする。
数秒後、液晶画面に画像が表示されます。
- 4** フラッシュモードボタンを、撮影条件に合わせ設定する。(☑をお勧めします。内蔵のストロボがレリーズボタンに連動して発光します。)
- 5** H/Sボタンを押して、解像度を選択する。
- 6** カメラを被写体に向け、カメラの液晶画面を見て構図を決める。
ズームレバーを押すと、ズームすることができます。
- 7** カメラのレリーズボタンを押す。
撮影した画像を内蔵のメモリーに記録中は、スタンバイランプがゆっくりと赤で点滅します。
画像がメモリーに取り込まれると、スタンバイランプは緑に変わります。

撮影が終了したら

カメラの電池を消耗させないために、POWERスイッチをOFFにしてください。

被写体とレンズの最適距離

液晶画面にガイドラインを表示させて撮影するとき、被写体とレンズの最適距離はガイドラインの種類とズーム位置によって違ってきます。頭の頂上からあごまで24センチの顔の写真を撮るとした場合の最適距離とプリントされる顔のサイズを以下に示します。

FRAMEの種類	ズーム位置による最適距離	プリントされるサイズ
<p>FRAME 1</p> 	<p>広角 : 1 m ズーム : 1.3 m</p>	<p>27 mm</p> 
<p>FRAME 2</p> 	<p>広角 : 1.05 m ズーム : 1.35 m</p>	<p>34 mm</p> 
	<p>広角 : 1.45 m ズーム : 1.9 m</p>	<p>25 mm</p> 
<p>FRAME 3</p> 	<p>広角 : 1 m ズーム : 1.25 m</p>	<p>28.5 mm</p> 
<p>FRAME 4</p> 	<p>広角 : 1.3 m ズーム : 1.65 m</p>	<p>22 mm</p> 

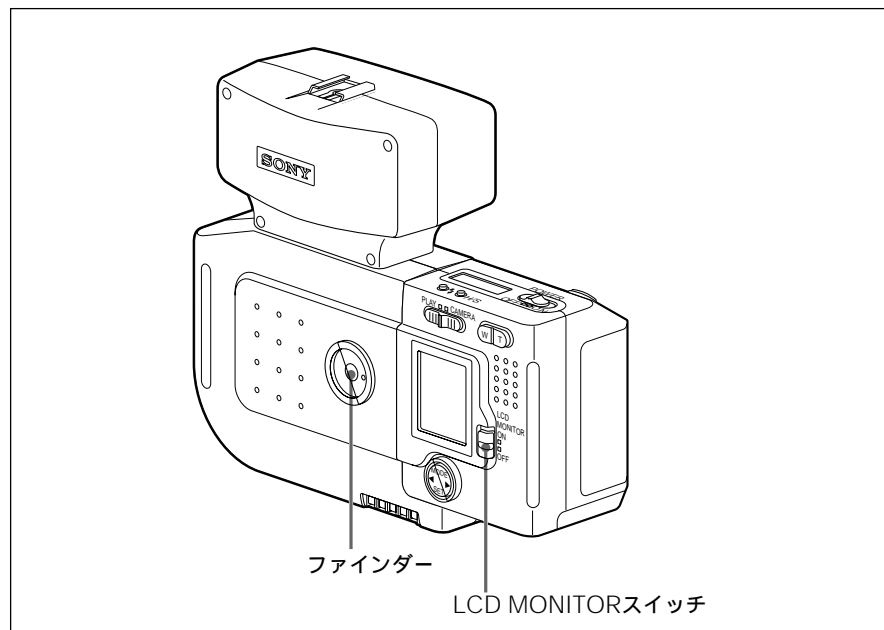
ファインダーを使う

モニターの液晶画面の代わりにファインダーを使って画枠を決めると、電池を節約することができます。

LCD MONITORスイッチをOFFにし、ファインダーから被写体を見て画枠を決めます。

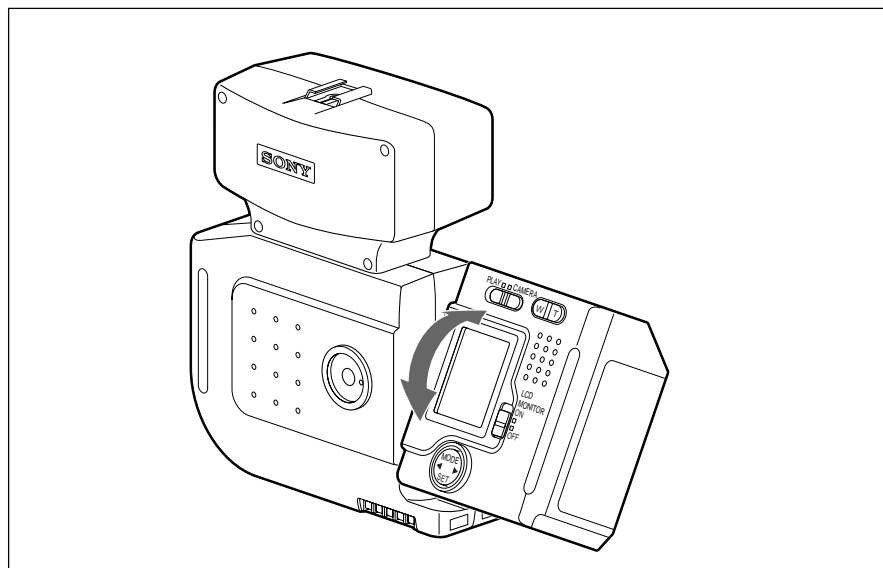
ご注意

ファインダーを通して見る画枠は正確ではありません。正確な画枠は液晶画面の画像です。



グリップの角度を調節する

液晶画面のあるブロックは90度回転して、液晶画面を見やすくすることができます。



マニュアル操作

このカメラはAUTOモード(モード選択によってAUTOを選択します)で、最良の結果が得られるように設計してあります。しかし、外部ストロボを使用したり、特別な照明条件で撮影するなどの場合は、マニュアル操作をすることもできます。

マニュアル操作について詳しくは取扱説明書(応用編)をご覧ください。

AUTO/MAN (オート/マニュアル) モードの選択

AUTOモードでは、ストロボのモードがA $\frac{1}{2}$ 、 $\frac{1}{4}$ 、 $\frac{1}{8}$ 、または \odot のとき、露出、絞り、ホワイトバランスが最適値になるよう設定されています。ストロボのモードが $\frac{1}{2}$ Eまたは $\frac{1}{4}$ Eのときは、露出、絞り、ホワイトバランスは工場出荷時の設定になります。

MAN(マニュアル)モードにすると、露出、絞り、ホワイトバランスを任意の値に設定することができます。

露出の設定

このカメラは ± 0 の露出で最適の明るさとなるように調節されています。露出の設定を変えて明るさを変えることができます。露出を+にすると明るくなり、-にすると暗くなります。

絞りの設定

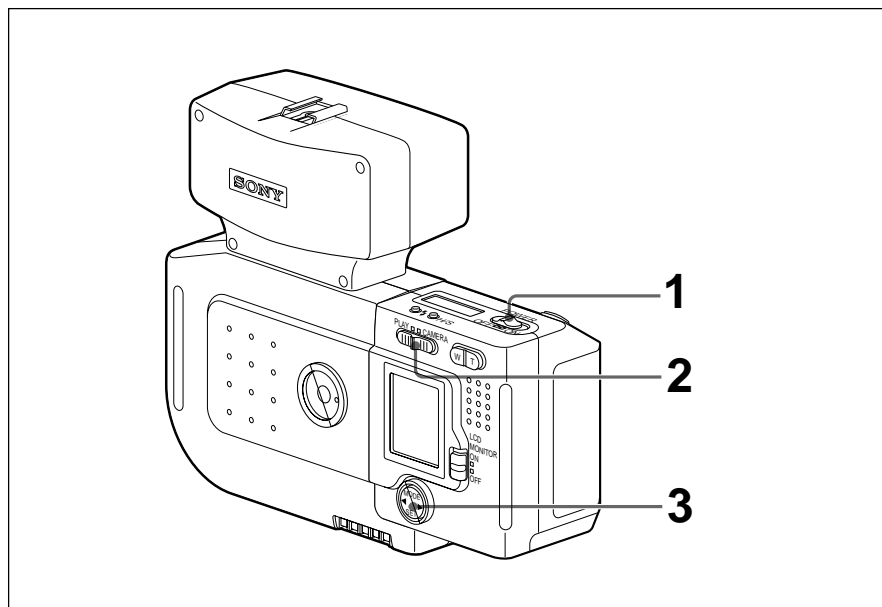
このカメラの絞り位置はOPEN(開放)とCLOSE(閉じる)の2つです。普通はOPENを使用しますが、使用する外部ストロボによってはCLOSEを使ったほうが良い結果が得られる場合もあります。

ホワイトバランスの設定

内蔵ストロボだけを使う場合、ホワイトバランスはAUTOにすることをお勧めします。ストロボのモードを $\frac{1}{2}$ Eか $\frac{1}{4}$ Eにしたり、AUTO/MANモードの選択をMANにしたとき、または外部ストロボを使うときは、ホワイトバランスを最適値に設定する必要があります。数値が小さいと青みを帯び、数値が大きいと黄色味を帯びます。

撮影した画像を再生する

カメラに記録した画像を、液晶画面で見ることができます。



1 POWER スイッチをONにする。

2 PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにする。

撮影した画像が液晶画面に表示されます。

3 モードボタンの◀または▶を押す。

表示される画像がひとつ前または後ろに切り換わります。

自動再生

モードボタンの◀または▶を約2秒間押します。

約4秒間隔でメモリーに保存された画像が順番に再生されます。

自動再生を停止する

モードボタンのMODEまたはSETを押します。

再生が終了したら

POWER スイッチをOFFにします。

マルチ画面再生をする

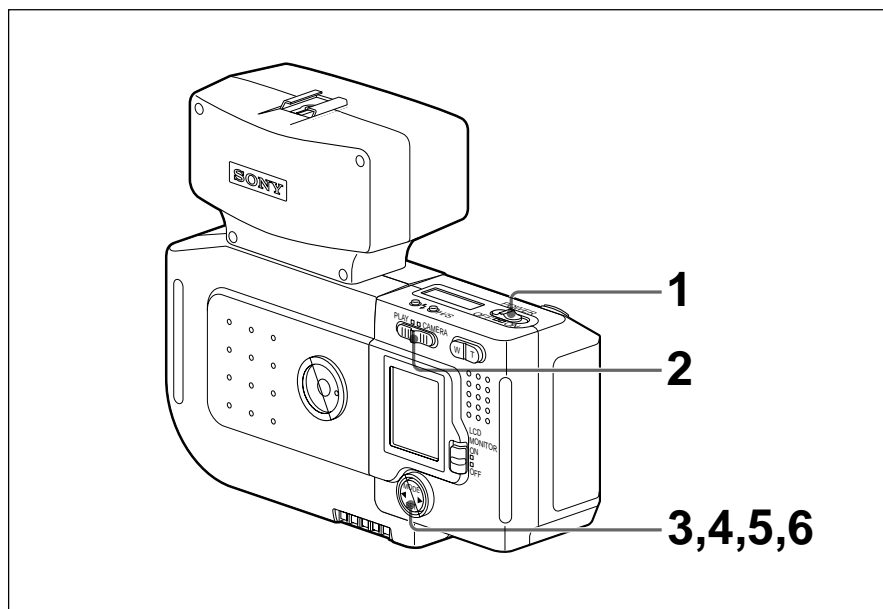
マルチ画面再生をすることができます。

詳しくは取扱説明書(応用編)をご覧ください。

画像を消去する

不要になった画像を消去することができます。画像の消去には、1枚ずつ消去する方法とすべての画像を一度に消去する方法があります。

1枚ずつ消去するには

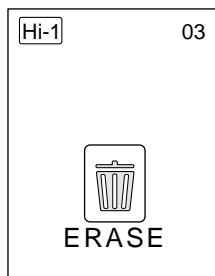


- 1** POWERスイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERAスイッチをPLAYにする。

再生画像が液晶画面に表示されます。

- 3** モードボタンのMODEを3回押す。

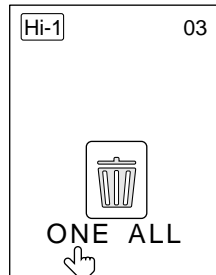
液晶画面にERASE表示が出ます。



- 4** モードボタンの◀または▶を押し、消去したい画像を選択する。

5 モードボタンのSETを押す。

液晶画面にONE/ALL 表示が出て、ONE 表示の下に選択マークが表示されます。



6 モードボタンのSETを押す。

ERASING が表示され、手順4 で選んだ画像が消去されます。

続けて消去するときは、手順4、5、6を繰り返します。

消去を中止するには

手順4、5でモードボタンのMODEを、ERASE 表示が消えるまで押します。

1度に全部消去するには

1 POWER スイッチをONにする。

2 PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにする。

再生画像が液晶画面に表示されます。

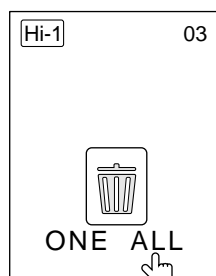
3 モードボタンのMODEを3回押す。

液晶画面にERASE 表示が出ます。

4 モードボタンのSETを押す。

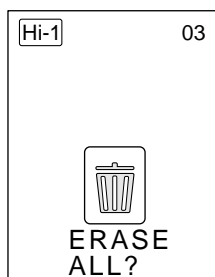
液晶画面にONE/ALL 表示が出ます。

5 モードボタンの◀または▶を押し、選択マークをALLの下に移動する。



6 モードボタンのSETを押す。

ERASE ALL? (全画像消去の確認) 表示が出ます。



7 モードボタンのSETを押す。

ERASING 表示が出て、プロテクトされていない画像がすべて消去されます。

全ての画像が消去された場合は、画面が青くなります。

プロテクトされた画像がある場合は、その画像とERASE 表示が出ます。

消去を中止するには

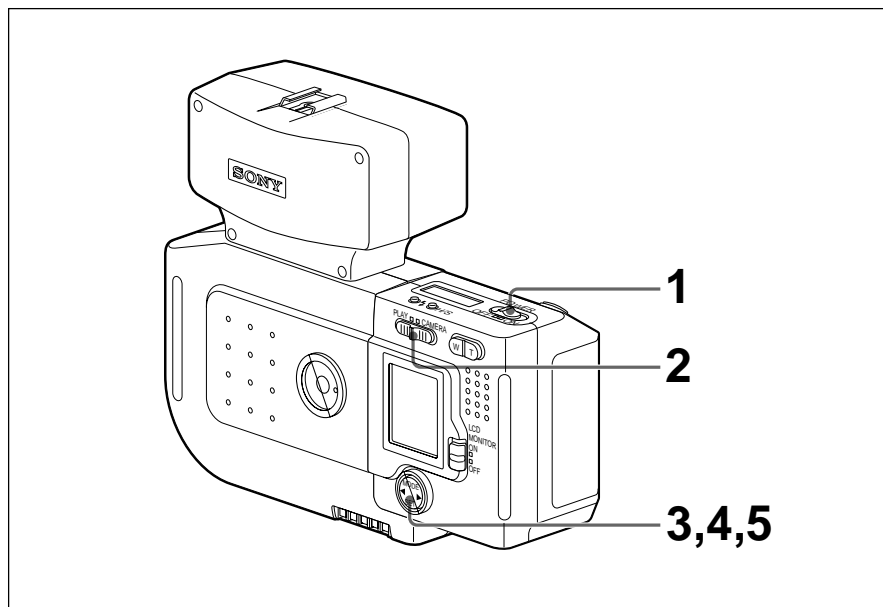
手順4、5でモードボタンのMODEを、ERASE 表示が消えるまで押します。

消去を終了する

モードボタンのMODEを押し、ERASE 表示を消します。

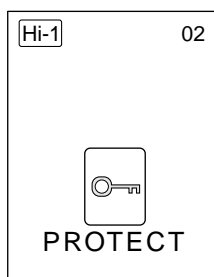
消去を禁止する(プロテクト)

撮影済みの画像を誤って消去しないように、消去禁止にすることができます。



- 1** POWER スイッチをONにする。
- 2** PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにする。
再生画像が液晶画面に表示されます。

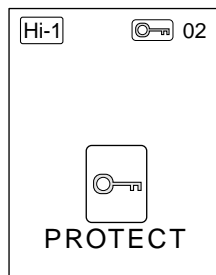
- 3** モードボタンのMODEを2回押す。
液晶画面にPROTECT表示が出ます。



- 4** モードボタンの◀または▶を押し、消去禁止にしたい画像を選択する。

5 モードボタンのSETを押す。

表示している画像が消去禁止になり、プロテクトマークが表示されます。



続けて消去禁止にするときは、手順4、5を繰り返します。

消去禁止操作を終了するには
モードボタンのMODEを押します。通常の再生になります。

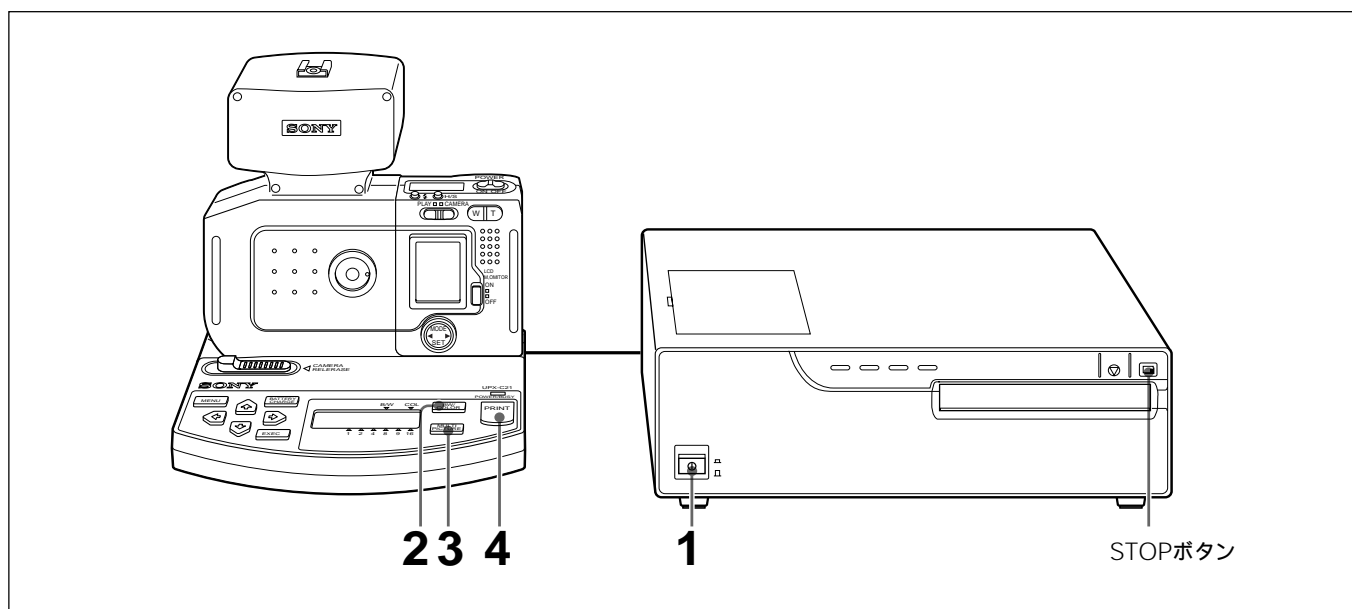
消去禁止を解除する

消去禁止にした画像を消去したいときは、解除したい画像を選び、手順4、5を実行して、プロテクトマークを消します。消去禁止が解除されます。

プリントする

プリントを始める前に

- インクリボンとプリント紙は正しい組み合わせでセットされていますか。(21 ページ)
- 給紙トレイ、排紙トレイ、インクリボンカートリッジは正しく取り付けられていますか。(16 ~ 21 ページ)
- ステーションのAC電源アダプターは電源コンセントに接続されていますか。(23 ページ)
- カメラはステーションに取り付けられていますか。(25 ページ)



画像をプリントする

- 1** プリンターのPOWERボタンを押して電源を入れる。

PRINT、ALARM、RIBBONおよびPAPERランプがすべて一度に点灯し、次に消灯します。プリンターはスタンバイ状態になります。

ステーションの液晶画面に約8秒間、“DIGITAL PRINTING SYSTEM UPX-C21”のメッセージが表示され、消えます。

- 2** ステーションのB/W COLORボタンを押して、白黒(B/W)またはカラー(COL)を選ぶ。
- 3** ステーションのSPLITボタンを押して、プリント画像をフルサイズにするか分割するかを選ぶ。
- 4** カメラのPOWERスイッチをONにする。
- 5** PLAY/CAMERAスイッチをPLAYにする。

6 プリントする画像をモードボタンで選択する。

画像の選択については、「撮影した画像を再生する」をご覧ください。(39ページ)

7 ステーションのPRINT ボタンを押す。

ステーションのPOWER/BUSYランプが赤く点滅します。また、液晶画面に“TRANSFER IMAGE ..”と表示されます。このメッセージが表示されている間、カメラの液晶画面から画像が消えますが、カメラからステーションへのデータ転送が終了すると、再び自動的に表示されます。この間はカメラをステーションから取り外さないでください。カメラからステーションに画像が転送されると、ステーションのPOWER/BUSYランプが赤く点灯し、“PROCESSING IMAGE...”が表示されます。

約2分半後にプリント画が排出されます。使用しているプリント紙により、プリント時間は多少異なります。

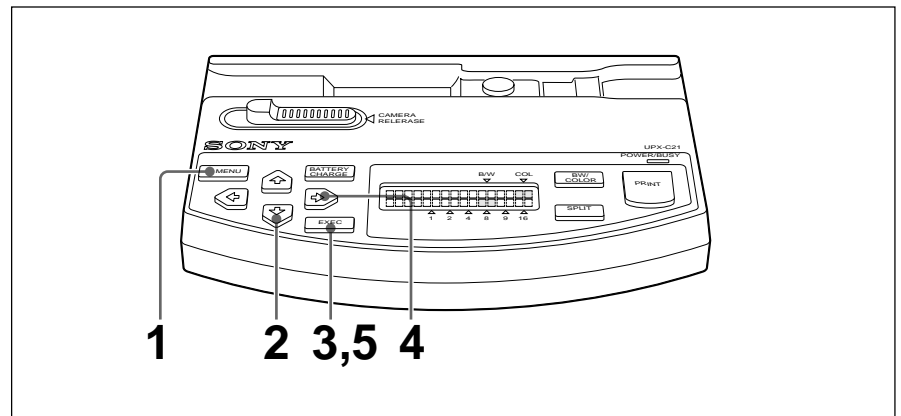
印刷が終わったら

電池の消耗を防ぐため、カメラのPOWERスイッチをOFFにします。

2枚以上印刷する

ひとつの画像を1度に9枚までプリントすることができます。

2枚以上1度に印刷する場合は、上記手順7でPRINTボタンを押す前に以下のようにして印刷枚数を設定してください。



1 ステーションのMENUボタンを押す。

2 ▼ボタンを押して、ステーションの液晶画面に“PRINT QTY”(プリント枚数メニュー)を表示させる。

3 ◀または▶ボタンを押してプリント枚数を選択する。

4 EXEC ボタンを押す。

プリント枚数が設定され、液晶画面の左下に設定枚数が“ Q6 ”のように表示されます。

PRINT ボタンを押すと印刷が始まります。設定した枚数の印刷が終わると設定は1に戻ります。

プリント画像ををラミネート加工する
ラミネートカラープリントバックUPC-2045を使うと、プリント画像をラミネート加工することができます。光沢、マットまたは絹目の中からラミネートの方法を選ぶことができます。

1 ステーションのMENU ボタンを押す。

“ LAMINATION ”が表示されます。

2 ◀または▶ ボタンを押してラミネーションの方法 (GLOSSY、MATTEまたはTEXTURE)を選択する。

3 EXEC ボタンを押す。

選択したラミネーションの方法が設定され、液晶画面の左上に選択した方法が“ LG ”のように表示されます。

PRINT ボタンを押すとプリントを開始し、ラミネート加工されたプリント画像を出力します。

ラミネートプリントバックUPC-2040Aをお使いの場合
プリンターはプリント動作を始める前、プリント可能な温度になるまで感熱ヘッドをプリヒートします。電源を入れた直後のプリントなど、プリンターの感熱ヘッドが冷えている状態でPRINT ボタンを押すと、プリヒートの間、PRINTランプが点灯し、プリント可能な状態になると、自動的にプリントが始まります。

ご注意

プリント画を保存するときは

- 直射日光の当たるところや、温度や湿度の高いところに置かないでください。色が退色する場合があります。
- プリント画に粘着テープをはったり、プリント画を消しゴムやデスクマットなどの可塑性を含むものに触れさせないでください。
- アルコール類や揮発性の有機溶剤などに触れないようにして保存してください。

ステーションとプリンターの電源を切るには
AC電源アダプターを電源コンセントから抜き、プリンターのPOWERスイッチを押してOFFにします。

プリント画質の調整

プリントの前に、ステーションのメニュー機能を使って画質の調整をすることができます。メニュー機能によって以下の項目が補正できます。カラー印刷の場合は、カラーガイドを印刷するとあらかじめ調整結果を確認することができます。

詳しくは取扱説明書(応用編)をご覧ください。

調整項目

LOAD SETTING : メモリーに保存した調整値を読み出します。

CYN-RED : B/W COLOR ボタンでCOLを選択した場合に有効です。◀ボタンを押すと全体にシアンが強くなり、▶ボタンを押すと全体に赤みを帯びます。

MAG-GRN : B/W COLOR ボタンでCOLを選択した場合に有効です。◀ボタンを押すと全体にマゼンタが強くなり、▶ボタンを押すと全体に緑色が強くなります。

YEL-BLU : B/W COLOR ボタンでCOLを選択した場合に有効です。◀ボタンを押すと全体に黄色みを帯び、▶ボタンを押すと全体に青みを帯びます。

DARK : ▶ボタンを押すと暗い方がより暗くなります。

LIGHT : ▶ボタンを押すと明るい方がより明るくなります。

SHARPNESS : NONE、LOW、MIDDLE、HIGHの中から画像の輪郭を選びます。

GAMMA : トーンを調整します。▶ボタンを押すと全体的に色調が濃くなり、◀ボタンを押すと全体的に薄くなります。

SAVE SETTING : 調整した値を内部メモリーに保存します。

COLOR GUIDE : B/W COL ボタンでCOLORを選択した場合に有効です。◀または▶ボタンを押して、RGB(色あい調整)またはDLGm(明暗トーン調整)を選択し、それぞれのカラーガイドを印刷します。

GRAY : B/W COLOR ボタンでB/Wを選択した場合に有効です。◀ボタンを押すと青みを帯び、▶ボタンを押すと黄色みを帯びます。

本システムの性能を保持するために

本システムの性能を保持するために、「安全のために」(2ページ)「**△**警告」(4ページ)「**△**注意」(5ページ)「電池についての安全上のご注意」(7ページ)と併せてご覧ください。

カメラ

使用・保存場所

次のような場所での使用および保管は故障の原因となりますので、避けてください。

- 極端に暑い所や寒い所(動作温度は0 ~ +40)
- 直射日光が長時間あたる場所や暖房器具の近く
- 湿気、ほこりの多い所
- 雨のあたる所
- 激しく振動する所
- 強い磁気を発するものの近く
- 強力な電波を発するテレビやラジオの送信所の近く

放熱

動作中は布などで包まないでください。内部の温度が上がリ、故障の原因となります。

輸送

輸送する時は、付属のカートンとクッション、または同等品で梱包し、強い衝撃を与えないようにしてください。

ためし撮りについて

必ず事前にためし撮りをし、正常に撮影されていることを確認してください。

著作権について

あなたがデジタルスチルカメラで撮影したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどのものであっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

プリンター

使用するときのご注意

- 長い間ご使用にならないときは、プリンターの電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- プリンターを輸送する際は、付属品を取り外してください。付属品をつけたまま持ち運ぶと故障の原因になることがあります。

結露について

湿度の低い場所から暖かい場所に移動したり、暖房で湯気や湿気がたち込めた部屋に置くと、プリンターの内部に水滴がつくことがあります。これを結露といいます。この状態でプリンターを使用すると、正常に動かないばかりでなく、故障の原因になります。結露の可能性のあるときは、プリンターの電源を切り、しばらくそのまま放置しておいてください。

お手入れ

- お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- カメラのレンズの表面に付着したごみやほこりは、プロアーで払ってください。
- 外装の汚れは、乾いたやわらかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤溶液を少し含ませた布で汚れを拭き取った後、からぶきしてください。
- アルコール、ベンジン、シンナー、殺虫剤など揮発性のものをかけると、表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

主な仕様

カメラ

一般






電源	ソニーリチウムバッテリー NP-F550 または 別売りの AC 電源アダプターより供給 8.4V
動作温度	5 ~ 35
保存温度	- 20 ~ + 60
動作湿度	20% ~ 80% (非結露)
最大外形寸法	220 × 210 × 71mm (幅 × 高さ × 奥行き)
質量	約 980g











システム






形式	デジタルスチルカメラ
記録・再生方式	フレームデジタル記録再生
データ圧縮伸長方式	JPEG ベースライン方式によるデータ圧縮、 伸長方式






記録媒体	内蔵 4MB フラッシュメモリー
映像素子	1/3 インチ 1.3M CCD 固体撮像素子
撮影枚数	Hi1 (超高解像度) : 5 枚以上 Hi2 (超高解像度) : 10 枚以上 S (高解像度) : 30 枚

消去方式	1 コマ消去、一括消去
記録画像	Hi1/Hi2 (超高解像度) : 1280 × 960 ピクセル S (高解像度) : 640 × 480 ピクセル

ホワイトバランス	A     : AUTO, 4000K, 4400K, 4800K, 5200K, 5600K, 6000K  E,  E : 4000K, 4400K, 4800K, 5200K, 5600K, 6000K, 6500K, 7000K
----------	---

測光方式	A     : 中央重点測光方式
露出制御方式	A   : 絞り優先シャッター可変プログラ ム露出制御   : 固定シャッター絞り優先プログラム露 出制御  E,  E : シャッタースピード固定

シャッター	A   : 1/30 ~ 1/750 秒   E : 1/250 秒  : 1/2 ~ 1/750 秒
-------	--

感度	A    E,  : ISO100 相当  E : ISO130 相当
----	---

ファインダー

液晶モニター

1.8 インチ低温ポリシリコン TFT カラー液晶
液晶画面画素数 約 110,000 画素

レンズ

f=12 ~ 15.6mm, F4 ~ F4.7 (35mm フィルム
カメラ用レンズ 78 ~ 102mm に相当) 自動
焦点

入出力端子

NTSC MON 端子	3.5mm (ピンジャック) 1.0Vp-p, 75 不平衡、同期負、 コンポジットビデオ、 NTSC カラー TV 方式 バーストレベル 0.286 ± 0.06V シンクレベル 0.286 ± 0.06V
RS-232C 端子	3.5mm (ミニジャック) RS-232C シリアルポート (最大 230.4kbps)
DC8.4V IN 端子	DC8.4V
RELEASE 端子	3.5mm (ミニジャック)

ステーション

電源	DC8.4V (付属の AC パワーアダプターより供 給)
最大外形寸法	208 × 44 × 188mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	560g

プリンター

電源	AC100V ± 10%、50/60Hz
消費電力	最大 180W (プリント時)
動作温度	5 ~ 35
動作湿度	20% ~ 80% (非結露)
保管 / 輸送時温度	- 20 ~ + 60
最大外形寸法	約 370 × 125 × 417mm (幅 / 高さ / 奥行き)
質量	約 9.5kg (本体のみ)
プリント方式	昇華熱転写型
画像メモリー	4M バイト

主な仕様

プリント画素数	最大 1536 × 1024ドット、310dpi (フル画面時) 最大 1646 × 1024ドット (ラミネートカラー印刷時)
サーマルヘッド	12.2ドット/mm (1024ドット)
プリント階調	256階調処理 (イエロー、マゼンタ、シアン)
プリント時間	約 100秒 (UPC-2040A 使用 6分割時) 約 50秒 (UPC-20S16 使用時)

別売りアクセサリ

ラミネートプリントパック IPPM-200J
ラミネートプリントパック UPC-2040A
ラミネートプリントパック UPC-2045
はがきプリントパック UPC-2070
ステッカープリントパック UPC-20S01
ステッカー4分割プリントパック UPC-20S04
ステッカー16分割プリントパック UPC-20S16

ACパワーアダプター

電源	AC100 ~ 240V、50/60Hz
消費電力	23W、 34VA (100V時) 51VA (240V時)
定格出力	動作時: DC8.4V、1.5A
動作温度	5 ~ +35
保存温度	-20 ~ +60
最大外形寸法	約 125 × 39 × 62mm (幅 / 高さ / 奥行き) (突起部を含む)
質量	約 230g

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

付属品

- 小型ペーパー用トレイ (1)
- 大型ペーパー用トレイ (1)
- 排紙トレイ (1)
- プリンター電源コード (1)
- ACパワーアダプター PCS-AC08 (2)
- PCS-AC08用電源コード (2)
- インターフェイスケーブル (1)
- 接続コード (1)
- フェライトコア (1または3)
- リチウムバッテリー NP-F550 (1)
- リチウムボタン電池 (1)
- 保証書 (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

故障とお考えになる前に

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、または添付の「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

撮影

症状	原因 / 処置
シャッターボタンを押しても撮影ができない。	<ul style="list-style-type: none">• PLAY/CAMERA スイッチがCAMERAになっていない。 → PLAY/CAMERA スイッチをCAMERAにする。• 撮影準備状態になっている(スタンバイランプが点滅している) → スタンバイランプが緑の点灯になるまで待ってから撮影する。• 撮影可能枚数いっぱいになっている(スタンバイランプが赤く点滅) → コントロールパネルの撮影可能枚数を確認し、不要な画像を消去してから撮影する。
フラッシュが光らない。	<ul style="list-style-type: none">• フラッシュモードボタンの設定が正しくない。 → フラッシュモードボタンをA$\frac{1}{2}$、$\frac{1}{4}$または$\frac{1}{8}$Eに設定にする。• 外部ストロボのコードがカメラに接続されていない。 → 外部ストロボのコードをカメラのFLASH端子に接続する。• 電池が消耗している。 → 電池を充電するか、新しい電池と交換する。 → ストロボの寿命が切れているときは、ソニーサービス窓口にご相談ください。

カメラの液晶画面

症状	原因 / 処置
撮影時、液晶画面に画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• PLAY/CAMERA スイッチがPLAYになっている。 → CAMERAにする。• カメラのLCD MONITOR スイッチがOFFになっている。 → ONにする。• 画像データがステーションへ転送されている最中である。 → 転送が終わると自動的に画像が表示される。
再生画像が出ない。	<ul style="list-style-type: none">• PLAY/CAMERA スイッチがCAMERAになっている。 → PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにする。
寒い所で使用すると、画像が尾を引いて見えることがある。 赤、青、緑などの輝点が点灯したままになることや、小さな黒点が見えることがある。	<ul style="list-style-type: none">• 液晶の性質による現象。 → 故障ではありません。

撮影画像

症状	原因 / 処置
画像がぼけている。	<ul style="list-style-type: none">• ピントが合っていない。 → レンズと被写体の距離を調べ、ピントの合う範囲に被写体を置く。• リリースボタンを押すときにカメラが動いた。 → カメラを正しく構え、リリースボタンを静かに押す。• レンズが汚れていた。 → レンズをきれいにする。
画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none">• フラッシュを指などで覆っていた。 → カメラを正しく構え、フラッシュに指がかからないようにする。• 被写体が遠くにあった。 → フラッシュ撮影可能範囲内で撮影する。• 逆光で撮影した。 → フラッシュで撮影する。
室内で撮影した画像の色がおかしい。	<ul style="list-style-type: none">• 照明の影響を受けている。 → ホワイトバランスを正しく設定する。
画像の一部が欠けている。	<ul style="list-style-type: none">• レンズに指などがかかっていた。 → カメラを正しく構え、レンズに指などがかからないようにする。

プリンター / ステーション

症状	原因 / 処置
プリントできない。	<ul style="list-style-type: none">• 接続が正しくされていない。 → 接続を確認する。• インクリボンカートリッジまたはプリント紙が取り付けられていない。 → 取り付ける。

ステーションの液晶画面に表示されるエラーメッセージ

異常が起これば、ステーションのPOWER/BUSYランプが赤く点灯し、液晶画面にエラーメッセージが表示されます。

ステーションの液晶画面	意味 / 対処
CHECK RIBBON	<ul style="list-style-type: none">不良状態のインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。インクリボンが切れた。 → セロハンテープなどでつなげる。(18 ページ)本機では使用できないインクリボンカートリッジが取り付けられている。 → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(16 ページ)
PAPER JAMMING	プリンター内部で紙づまりが起きた。 → つまったプリント紙を取り除く。(57 ページ)
SENSOR TROUBLE	センサーのトラブルが起きた。 → プリンターはこれ以上作動しません。電源を切って、お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。
END OF RIBBON	インクリボンカートリッジが終わりになった。 → 新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(16 ページ) (インクリボンは再利用できません。)
INSERT RIBBON	インクリボンカートリッジが取り付けられていない。 → 取り付ける。(16 ページ)
SET PAPER	<ul style="list-style-type: none">プリント紙がない。 → プリント紙を入れる。(19 ページ)給紙トレイが取り付けられていない。 → 取り付ける。(19 ページ)
INSERT RIBBON SET PAPER	インクリボンカートリッジとプリント紙が取り付けられていない。 → インクリボンカートリッジを取り付け、プリント紙を入れる。 (16 ~ 21 ページ)
REMOVE PRINTS	排紙トレイにプリント済みのプリント紙がたまった。 → たまったプリント紙を取り除く。
REMOVE PAPER	給紙トレイ付近で紙づまりが起きた。 → つまったプリント紙を取り除く。(57 ページ)
CLOSE COVER	上ぶたが開いている。 → 上ぶたを閉じる。(58 ページ)
SET CAMERA	カメラがステーションに正しく接続されていないか、カメラの電源が入っていない。 → カメラを正しく接続(25、26 ページ)し、PLAY/CAMERA スイッチをPLAYにしてから、ステーションのPRINT ボタンを押す。
LOW BATTERY PRESS [EXEC]	電池が消耗している。 → 電池を充電する(29 ページ)か充電済みの電池と交換する(27 ページ)あるいはAC電源アダプター(23 ページ)を使用する。液晶画面のメッセージを消し、通常の画面に戻すには、EXEC ボタンを押す。
CAMERA ERROR	カメラとの通信トラブルが起きた。 → カメラとプリンターの電源を入れ直す。

プリンターのフロントパネルのランプについて

エラーが起きるとPRINT、ALARM、RIBBONおよびPAPERランプが点灯または点滅します。点灯・点滅の状態エラーの発生箇所、原因がわかります。各ランプの点灯・点滅の状態は以下の通りです。

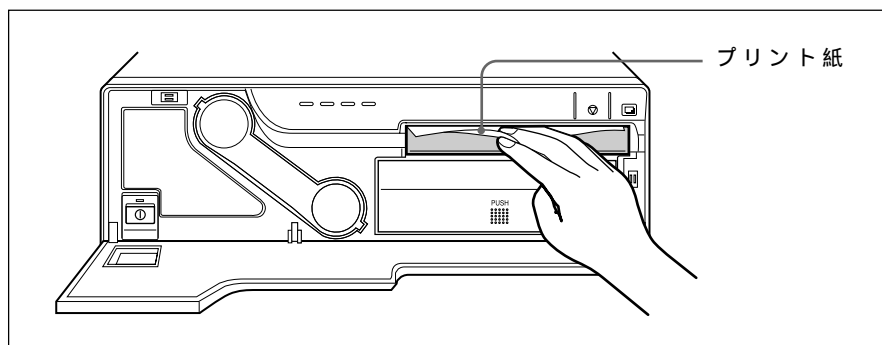
ランプ		原因と対策
点灯	点滅	
PRINT		プリント中
	PRINT	画像データを受信中
PRINT	ALARM	<ul style="list-style-type: none"> ・プリント中にストップした。 <ul style="list-style-type: none"> → プリント紙排出後点灯および点滅しているランプは消灯する。 ・本機では使用できないプリント紙が取り付けられている。 <ul style="list-style-type: none"> → プリント紙が排出されたあと、正しいプリント紙を入れる。(21ページ)
RIBBON		<ul style="list-style-type: none"> ・インクリボンが終わりになった。 <ul style="list-style-type: none"> → 新しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(16ページ)(一度使ったインクは再び使うことはできません) ・インクリボンカートリッジが取り付けられていない。 <ul style="list-style-type: none"> → 取り付ける。(16ページ)
PAPER		<ul style="list-style-type: none"> ・プリント紙がない。 <ul style="list-style-type: none"> → プリント紙を入れる。(19ページ) ・給紙トレイが取り付けられていない。 <ul style="list-style-type: none"> → 取り付ける。(19ページ)
ALARM、PAPER		<ul style="list-style-type: none"> 間違った組み合わせのインクリボンカートリッジとプリント紙が取り付けられている。 <ul style="list-style-type: none"> → 正しい組み合わせで使用する。(21ページ)
ALARM、RIBBON		<ul style="list-style-type: none"> ・不良状態のインクリボンカートリッジが取り付けられている。 <ul style="list-style-type: none"> → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(16ページ) ・インクリボンが切れた。 <ul style="list-style-type: none"> → セロハンテープなどでつなげる。(18ページ) ・本機では使用できないインクリボンカートリッジが取り付けられている。 <ul style="list-style-type: none"> → 正しいインクリボンカートリッジを取り付ける。(21ページ)
ALARM		<ul style="list-style-type: none"> プリンター内部で紙づまりが起きた。 <ul style="list-style-type: none"> → 「紙づまりのとき」をご覧ください。
	ALARM	<ul style="list-style-type: none"> 上ぶたがあいている。 <ul style="list-style-type: none"> → 上ぶたを閉じる。
PRINT、ALARM、PAPER、RIBBON		<ul style="list-style-type: none"> サービス担当者を必要とするトラブルが起きた。 <ul style="list-style-type: none"> → これ以上使用できません。電源を切って、お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。

つまった紙を取り除く

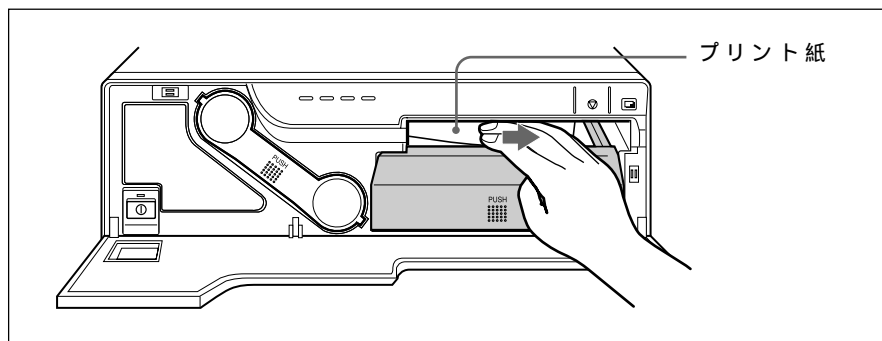
プリント動作中に紙づまりが起きたときは、ALARMランプが点灯します。紙がつまった箇所により操作が異なります。次のようにしてつまった紙を取り除いてください。

つまった紙が取れた場合はそこで作業を止め、そこまでに取り除いた排紙トレーや給紙トレーなどを取り付けてください。

- 1 フロントドアを開ける。
- 2 排紙トレーにプリント済みのプリント紙があるときは、取り出す。

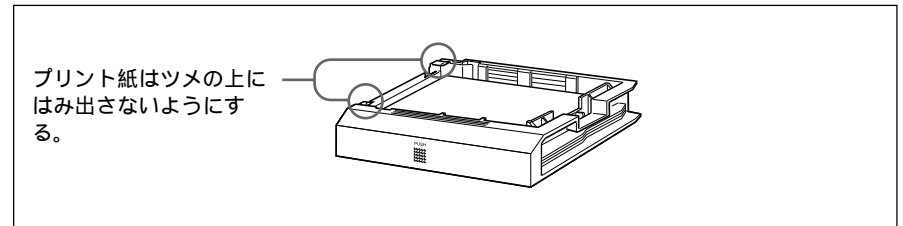


- 3 プリンターの電源を切る。
- 4 排紙トレーを取り出す。
プリント紙が給紙口付近で見た場合は、手順5に進んでください。
プリント紙が給紙口付近で見えない場合は、プリンター内部で紙がつまっています。
手順8に進んでください。
- 5 紙を給紙トレーに戻す。
取れない場合は、次に進んでください。



- 6 給紙トレーを取り出す。
給紙口に紙がつまっていたら取り出します。

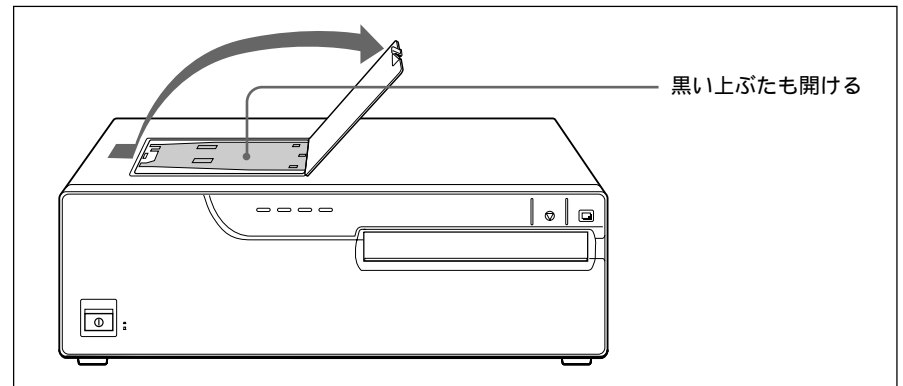
- 7** プリント紙を正しくセットする。
手順6で戻したプリント用紙はご使用にならないでください。



- 8** インクリボンカートリッジを取り出す。
プリント紙がつまっていたら取り出す。
インクリボンカートリッジが取り出せない場合は、これ以上使用できません。
お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。

つまっているプリント紙が見えない場合は、手順9に進んでください。

- 9** 白い上ぶたを開け、中の黒い上ぶたも開ける。
内部に紙がつまっていたら取り出します。



つまったプリント紙が取り出せない場合は、これ以上使用できません。
お買い上げ店またはお近くのソニーのご相談窓口にご連絡ください。

- 10** 排紙トレイ、給紙トレイ、インクリボンカートリッジなど取り外したものをすべて取り付け、上ぶた、中ぶた、フロントドアを閉める。

- 11** 電源を入れ直す。
メモリーに記憶した画像は消えています。再度ステーションから画像を転送してください。

ご注意

プリント中は上ぶた、および中の黒い上ぶたは開けないでください。開けるときは必ずプリンターの電源を切ってください。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
ソニーマーケティング株式会社 情報システム営業本部 〒108-0074 東京都港区高輪4-10-18

Sony  line <http://www.world.sony.com/>

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan